

計九ヶ村 内三ヶ村愛知郡

緒川局 緒川村ヲ以テ市内トス

緒川村 横根村 北崎村 森岡村 大符村

計五ヶ村

藤江局 藤江村ヲ以テ市内トス

有脇村

藤江村 生濱村 阿久比村 有脇村

計四ヶ村

師崎局 師崎村ヲ以テ市内トス

師崎村 旭村 豊濱村 篠島村 日間賀島村

計五ヶ村

内海局 内海村ヲ以テ市内トス

内海村 山海村

計貳ヶ村

野間局 野間村ヲ以テ市内トス

野間村 奥田村 小野浦村

計三ヶ村

小鈴谷局 小鈴谷村ヲ以テ市内トス

小鈴谷村 上野間村 坂井村 廣目村 大谷村

計五ヶ村

常滑局 常滑村ヲ以テ市内トス

常滑村 佐合村 中橋村

計三ヶ村

大野局 大野村ヲ以テ市内トス

大野村 金山村 米田村 南粕谷村 日長村

大興寺村 金澤村 大草村

計八ヶ村

横須賀局 高横須賀村、養父村ヲ以テ市内トス

横須賀村 太田村 荒尾村 吉田村 加木屋村

八幡村 新知村 岡田村 佐布里村 高横須賀村

養父村

計拾壹ヶ村

名和局 名和村ヲ以テ市内トス

名和村 富木島村 大高村 荒尾村

愛知郡 本星崎村

計五ヶ村 内二ヶ村愛知郡

三河國

碧海郡 戸長役場數 百五拾二 内十ヶ所郵便局所在地 村數 百五十七 内十九ヶ村他郡郵便局ニ屬ス

知立局 知立村ヲ以テ市内トス

知立村 一ツ木村 逢見村 西境村 東境村

中田村 駒場村 八ツ橋村里 今村

來迎寺村 牛田村 西中村 上重原村 下重原村
井ヶ谷村

計拾六ヶ村

大濱局

大濱村 柵尾村ヲ以テ市内トス

大濱村 柵尾村 (平七) 鷲塚村 (伏見屋新田)

前濱新田

伏見屋新田

計七ヶ村

刈谷局 刈谷村ヲ以テ市内トス

刈谷村 熊村 高津波村 小山村 築地村
元刈谷村 半城土村 高須村 小垣江村 吉濱村

計拾ヶ村

西端局 西端村ヲ以テ市内トス

西端村 高取村 榎前村 根崎村 東端村
和泉村 高濱村

計七ヶ村

下中島局 下中島村ヲ以テ市内トス

下中島村 安藤村 正名村 定國村 中村
福桶村 上三ツ木村 下三ツ木村 高畑村
幡豆郡 下羽角村 上羽角村 貝吹村 上永良村 下永良村
全小島村 全西淺井村 全新村 全高落村 全江尾花村
全高河原村 全和氣村 全岡島村 全駒場村 全室村

家武村^全 大和田村^全 米野村^全 東淺井村^全

計貳拾九ヶ村 内貳拾ヶ村 幡豆郡

堤局 堤村ヲ以テ市内トス

堤村 北中根村 吉原村 若林村 竹村

乙尾村 大林村 西田新郷 花園村

計九ヶ村

上野局 上野村ヲ以テ市内トス

上野村 和會村 福受新郷 廣畔新郷 柝塚村

中切村 宗定村 川端村 阿彌陀堂村 上中島村

配津村 渡刈村 鴛鴨村 隣松寺村 國江村

永覺新郷

計拾六ヶ村

矢作局 矢作村ヲ以テ市内トス

矢作村 筒針村 渡リ村 大友村 牧内新田村

小針村 柿崎村 富永村 高木村 大岡村

西別所村 別郷村 東本郷村 暮戸村 西本郷村

東本郷村東分 北野村 尾崎村 大濱茶屋村 宇頭茶屋村

舩越村 中園村 森越村 橋目村 桑子村

宇頭村 東牧内村 西牧内村 東別所村 小望村

山崎村 館出村 池端村 上佐々木村 新堀村

上條村 板戸村 島村 下佐々木村

計三拾九ヶ村

箕輪局 箕輪村ヲ以テ市内トス

箕輪村 赤松村 福釜村 高棚村 谷田村

八ッ田村 篠目村 野田村

計八ヶ村

櫻井局 櫻井村ヲ以テ市内トス

櫻井村 堀内村 東町村 川島村 河野村

安城村 村高村 南中根村 米津村 藤井村

木戸村 城ヶ入村(小川村 小川村) 古井村(野寺村)

計拾七ヶ村

幡豆郡

市街戸長役場敷
町敷
村落戸長役場敷
村敷

十一
貳拾
百三拾
百四拾九

市街中郵便局壹ヶ所
内四ヶ所郵便局所在地
内貳拾八ヶ村他郡郵便局ニ屬ス

西尾局

西尾市街、並ニナ以テ市内トス
鶴城村

矢場町 満全町 大給町 錦城町 會生町

鶴城村 伊藤村 上町村 下町村 小間村

法光寺村 矢曾根村 深池村 川口村 菱池村

長繩村 針曾根村 下道目記村 上道目記村 熱池村

齊藤村 須脇村 細池村 野々宮村 横手村

天竹村 十郎島村 鎌谷村 鵜ヶ池村 宅ノ島村
小焼野村 今川村 丁田村 寄住村 徳次村
熊味村 八ッ面村 志籠谷村 中原村 新渡場村
戸ヶ崎村 道光寺村 寄近村 葵 町

碧海郡
古新田村
新新田村

計貳拾ヶ町 内貳ヶ村碧海郡
四拾ヶ村

平坂局 平坂村ヲ以テ市内トス

新新田村
新新田村
新新田村
新新田村
新新田村
新新田村
羽塚村 國森村 住崎村 新在家村
西小柳新田 中畑村 田貫村 富山村

上矢田村 下矢田村 徳永村 巨海村 中根村
寺津村 楠 村

計貳拾壹ヶ村

西幡豆局 西幡豆村ヲ以テ市内トス

西幡豆村 烏羽村 友國村 小山田村 饗庭村
乙川村 宮崎村 寺部村 東幡豆村 (富好新田
白濱新田)
佐久島村

計拾貳ヶ村

上横須賀局 上横須賀村ヲ以テ市内トス

上横須賀村 木田村 寺島村 岡山村 瀬戸村

馱馬村 宮迫村 津平村 小牧村 中野村
 酒井村 萩原村 吉田村 大島村 富田村
 八幡川田村 下楯須賀村 善明村 花藏寺村

計拾九ヶ村

一色局 一色村ヲ以テ市内トス

藤田新田村 (酒手島村) 生田村 千間村 松木島村
 大塚村 (野田村) (對米村) 前野村 池田村
 笹曾根村 平口村 市子村 八ヶ尻村 行用村
 開正村 治明村 養ヶ島村 中外澤村 赤羽村
 味濱村 (細川新田) 小敷新田

大岡新田 東實祿新田 西實祿新田

計三拾壹ヶ村

額田郡

市街戸長役場敷 拾三
町敷 貳拾六
村落戸長役場敷 百八
村敷 百四十八

市街中郵便局壹ヶ所
内九ヶ所郵便局所在地

岡崎局

岡崎市街、並ニ管生村、梅園村、中村、六供村

ヲ以テ市内トス

康生町 (兩投) 傳馬町 八幡町 満唐十
 裏香町 (能見) 板魚屋町 (材本) 町 町 町 町 町
 上工門町 (中見) 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町
 久右門町 (能見) 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町
 速尺町 中村 (梅園) 村 高隆寺村 日名村
 籠田町 中村 (梅園) 村 高隆寺村 日名村
 横田町 中村 (梅園) 村 高隆寺村 日名村
 八帖村 能見村 明大寺村 福嶋新田村 大門村

洞 村 欠 井 田 村 伊 賀 村 上 六 名 村
 戸 崎 村 大 樹 寺 村 針 崎 村 稻 熊 村 福 壽 町
 羽 根 村 井 敷 百 田 々 村 門 前 町 龜 井 町 上 里 村
 久 後 崎 村 管 生 村 柱 村
 碧 海 郡 宮 地 村 上 和 田 村 法 性 寺 村 井 内 村 赤 澁 村
 全 牧 御 堂 村
 計 貳 拾 六 ヶ 町 内 六 ヶ 村 碧 海 郡
 三 拾 五 ヶ 村
 檜 山 局 檜 山 村 以 テ 市 内 ト ス
 檜 山 村 (下 衣 文 村 (櫻 井 寺 村 (茅 原 澤 村 秦 梨 村 夏 山 村

(古 越 部 村 烏 川 村 鹿 勝 川 村 牧 平 村
 蓬 生 村 瀧 原 村 鹿 勝 川 村 牧 平 村
 計 拾 七 ヶ 村
 本 宿 局 本 宿 村 以 テ 市 内 ト ス
 本 宿 村 (大 鷗 巢 村 山 網 村 鉢 地 村 池 金 村
 上 衣 文 村 舞 木 村 羽 栗 村
 計 九 ヶ 村
 藤 川 局 藤 川 村 以 テ 市 内 ト ス
 (藤 川 村 桑 谷 村 竜 泉 寺 村 和 合 村 大 平 村
 岡 村 保 母 村 小 美 村 丸 山 村 蓑 川 村

計拾壹ヶ村

龍局 龍村ヲ以テ市内トス

龍井野村 安河内村 大柳村 (小丸居村 駒立村)
大田口村 藤次村 東阿知和村 (小呂村)

計拾四ヶ村

宮崎局 石原村、中金村、ヲ以テ市内トス
龜穴村、明見村

石原村 (千木萬下町 河原村 (雨代山村 龜穴村)
明見村 中金村

計九ヶ村

鍛野局 鍛野村ヲ以テ市内トス

鍛野村 櫻形村 井澤村 (毛久田村 富尾村)
保久村 中伊村 (外山村 才栗村 (大高須味村)
岩中村 (田折代村 (關山村 蕪木村 (岩瀬戸村)

計貳拾壹ヶ村

福岡局 福岡村ヲ以テ市内トス

福岡村 上地村 坂崎村 高力村 (長嶺村)
若松村 (但深溝局持北野田村ト聯合ノ分)

碧海郡

坂左右村 全 下和田村 全 土井村 全 (中之郷村 全 上青野村 全
下野村 全 高橋村 全 合歡木村 全 在家村 全 國正村 全
野畑村 全

計拾八ヶ村 内拾壹ヶ村碧海郡

岩津局 岩津村ヲ以テ市内トス

岩津村 西阿知和村 眞福寺村 (川石村 仁木村)

磯部村 奥殿村 (奥山田村 細川村 (渡通津村 日影村))

(惠坂村 桑原村 東藏前村 西藏前村)

計拾八ヶ村

深溝局 深溝村ヲ以テ市内トス

深溝村 横落村 荻村 芦谷村 北鷺田村 (但福岡局持高力村ト聯合ノ分)

愛池村 大草村 野場村 須美村 永野村 平原村 六栗村

上六栗村 逆川村 桐山村

計拾五ヶ村 内八ヶ村幡豆郡

西加茂郡 戸長役場數 九拾二 内九ヶ所郵便局所在地 村數 百四拾五

舉母局 舉母村ヲ以テ市内トス

舉母村 越戸村 (花井村 西宮口村 梅ヶ坪村)

土橋村 (西山室村 下市場村 長興寺村 下林村)

金谷村 寺部村 上野山村 澁川村 (御立村)

野見村 西大見村 下渡合村 古瀬間村 (飛古瀬間村)

計貳拾四ヶ村

飯野局 飯野村ヲ以テ市内トス

飯野村 迫村 深見村 西中山村 北一色村

石渡合村 北曾木村 西市野々村 白川村 三筒村

木瀬村 御作村 西枝下村 藤松富押田澤村 大岩村

計貳拾三ヶ村

四郷局 四郷村ヲ以テ市内トス

四郷村 下伊保村 加納村 猿投村 本部村

舞木村 龜首村 御船村 殿貝津村 乙部村

計十ヶ村

上伊保局 上伊保村ヲ以テ市内トス

伊保村 藤原村 八草村 西廣見村 福谷村

黒笹村

計九ヶ村

カ石局 カ石村ヲ以テ市内トス

石枝下村 中切村 野口見村 中金村 小椿村

東廣瀬村 小白見村 中山路村

計拾貳ヶ村

平井局 平井村ヲ以テ市内トス

平井村 市木村 池田村 元山中村 寺谷下村

成合村 矢並村 上鷹見村 手鷹見村

計拾三ヶ村

三好局 三好村ヲ以テ市内トス
 三好村 福田村 明知村 本地村 千足村
 筋生村 打越村 西一色村

計八ヶ村

大坂局 大坂ヲ以テ市内トス

鍛冶屋敷村 北篠平村 千洗平村 大洞村 大寺平村
 永太郎村 乙ケ林村 澤田村 三ツ久保村 日暮畑村
 宮代村 川下村 市場村 西細田村 上川口村
 大倉村 李平村 築月村 百月村 松野村
 北野村

計三拾ヶ村

上仁木局 上仁木村ヲ以テ市内トス

上仁木村 下仁木村 北代村 川見村 大ヶ藏連村 西丹波村
 遊屋村 田代村 前洞村 岩下村
 東市野々村 小東市野々村 柏ヶ洞村 平岩村

計拾六ヶ村

東加茂郡 戸長役場數八十六 内拾壹ヶ所郵便局所在地 村數百六十七

足助局 足助村ヲ以テ市内トス

足助村 中之御所村 桑田村 葛中村 二宮村
 川面村 岩神村 大塚村 大綾立村 大藏連村
 室洞村 久盛村 東山中村 野林村 豐岡村
 有洞村 新久盛村 鹽山中村 野林村 越田村
 漆谷村 山谷村 野村聯合分

百

龍岡村 (東大尾村 御内藏連村 山之中立村) 上之小田村 (澤田村)
計三拾九ヶ村

柳野局 柳野村ヲ以テ市内トス

柳野村 (東加鹽村 押井村) 大坪村 東萩平村 萬根村

(杉本村 伊母澤村 余平村) 計拾貳ヶ村 (但小渡局持萬町村明賀村聯合ノ分)

計拾貳ヶ村

小渡局 小渡村ヲ以テ市内トス

(小渡村 萬町村) 有間村 笹戸村

計六ヶ村 (但柳野局持余平村 大田村聯合ノ分 但實栗局持池嶋村 市平村聯合ノ分)

實栗局 廣岡村ヲ以テ市内トス

廣岡村 月原村 (池平嶋村) 中立村 大河原村 (葛村)
計八ヶ村 (但小渡局持笹戸村聯合ノ分)

九久平局 九久平村ヲ以テ市内トス

九久平村 赤原村 六ッ木村 (中垣内村 川向村)

桂野村 林添村 大給村 下河内村 (七瀧村 長石村 哥田村 太田村 茅原村)

(曲鍋田村) 岩倉村 松平村 (二本木村 但則定局持重田村 和村西野村白瀬村聯合ノ分)

計貳拾貳ヶ村 (但真垣内局持大楠村提出村聯合ノ分)

真垣内局 真垣内村ヲ以テ市内トス

(真垣内村 南笹平村) 東宮口村 日明村 (羽木村 仁王村)

(下) 岩平村
 (大) 二口津村
 (下) 杉ノ屋敷村
 (初) 桑原本田村
 (上) 國谷村
 (大) 提立村
 (但) 九久平局持築山村聯合ノ分
 (正) 作村
 (四) ツ松村

計貳拾三ヶ村

則定局 則定村ヲ以テ市内トス

則定村 酒香村
 (重) 和田村
 (上) 國谷村
 (下) 佐切村
 (霧) 山村追分村
 (西) 野村
 (中) 國谷村
 (上) 佐切村
 (但) 九久平局持二木村聯合ノ分

計拾貳ヶ村

明川局 明川村ヲ以テ市内トス
 明川村 連谷村 大多賀村 上八木村 五反田村

(平) 千田澤村
 (日) 下部村
 (小) 畑村
 (玉) 野村
 (北) 福知田村
 (小) 田村
 (八) 幡村
 (植) 物本村
 (但) 是助局持久木村新盛村
 (聯) 合ノ分

計拾五ヶ村

牛地局 牛地村ヲ以テ市内トス
 牛地村 小瀧野村 田津原村 坪碕村
 計六ヶ村 關羅瀬村 富永村

大沼局 東大沼村ヲ以テ市内トス

東大沼村
 (小) 松野村
 (東) 蘆原村
 (黒) 岩立村
 (但) 野原局持立岩村田平澤村聯合ノ分
 花澤村
 (黒) 岩立村
 (但) 野原局持立岩村田平澤村聯合ノ分
 黒坂村 和合村
 (神) 梶島村
 (初) 桑原本田村

計拾三ヶ村

野原局 野原村ヲ以テ市内トス

(野) 高野村 大桑村 羽布村 大林村

(立) 岩村

但大沼局持黒岩村初立村平瀬村聯合ノ分

梨野村 阿野村 吉野村 宇連村

計拾壹ヶ村

北設樂郡 戸長役場敷 五拾一 内十ヶ所郵便局所在地
村敷 五十四

田口局 田口村ヲ以テ市内トス

田口村 清崎村 (荒) 尾市村 (小) 江村 八橋村

川向村 大名倉村 松戸村

計拾ヶ村

本郷局 本郷村ヲ以テ市内トス

本郷村 下田村 川角村 西園目村 東園目村

御園村 足込村 中設樂村

計八ヶ村

川合局 川合村ヲ以テ市内トス

川合村 長岡村 奈根村

計三ヶ村

下粟代局 下粟代村ヲ以テ市内トス

(下) 粟代村 神田村 平山村 古戸村 月村

(上) 粟代村 小林村

計七ヶ村

稲橋局 稲橋村ヲ以テ市内トス

武節町村

稲橋村 武節町村 夏焼村 野入村 大野瀬村

押山村 川手村 御所貝津村 黒田村 小田木村

桑原村 中當村

計拾貳ヶ村

大平局 納庫村ノ内字大平ヲ以テ市内トス

東納庫村 西納庫村

計二ヶ村

上津具局 上津具村ヲ以テ市内トス

上津具村 下津具村 坂字場村

計三ヶ村

三都橋局 三都橋村ヲ以テ市内トス

三都橋村 田峯村 豊邦村 田内村

計四ヶ村

中久名局 下黒川村ノ内字中久名、及黒川沿ヒ

小造、溝淵

ヲ以テ市内トス

下黒川村 上黒川村 古真立村 三澤村

計四ヶ村

市原局 富山村ノ内字市原ヲ以テ市内トス

富山村

計壹ヶ村

南設樂郡

戸長役場敷

五十七

内七ヶ所郵便局所在地

六十

内一ヶ村他郡郵便局ニ屬ス

新城局 新城村ヲ以テ市内トス

新城村 石田村 野田村 豊島村 川田村

稲木村 豊榮村 杉山村 平井村 上平井村

矢部村 富永村 富澤村 川路村 竹廣村

八束穂村 大宮村 牛倉村 (徳定村)

計貳拾ヶ村

海老局 海老村ヲ以テ市内トス

海老村 四ッ谷村 連合村 中島村 副川村

玖老勢村

計六ヶ村

長者平局 高里村ノ内字長者平ヲ以テ市内トス

高里村 田原村 黒瀬村 岩波村 鴨谷村

高松村 杉平村 保永村 白鳥村 清岳村

計拾ヶ村

塩瀬局 塩瀬村ヲ以テ市内トス

塩瀬村 大和田村 只持村 布里村 一色村

荒原村 田代村

計七ヶ村

守義局 守義村ヲ以テ市内トス

守義村 菅沼村 愛郷村 (木和田村 善夫村)

計五ヶ村

大海局 大海村ヲ以テ市内トス

大海村 横川村 有海村 出澤村 須長村

(淺木村 谷下村)

計七ヶ村

長篠局 長篠村ヲ以テ市内トス

長篠村 富榮村 門谷村 富保村

計四ヶ村

寶飯郡

戸長役場敷 八十七 内八ヶ所郵便局所在地 村數 百四 内一ヶ村他郡郵便局ニ屬ス

御油局 御油村ヲ以テ市内トス

御油村 國府村 財賀村 市田村 野口村

(久保村 八幡村 小田淵村 平尾村 上佐脇村)

金野村 豊澤村 (森當村)

計拾五ヶ村

西方局 西方村ヲ以テ市内トス

西方村 御馬村 (下佐脇新田) 洋野村 赤根村

相樂村 大塚村 大草村 廣石村

計拾ヶ村

赤坂局 赤坂村ヲ以テ市内トス

赤坂村 萩 村長 澤村

計三ヶ村

蒲郡局 蒲郡村ヲ以テ市内トス

蒲郡村 小江村 (新井形村) 府相村 水竹村

上ノ郷村 柏原村 清田村 牧山村 三谷村

坂本村 西迫村 竹谷村 五井村

計拾五ヶ村

豊川局 豊川村ヲ以テ市内トス

豊川村 本野村 篠田村 大崎村 (二葉河原村)

古宿村 北金屋村 南金屋村 牛久保村 (瀬子木村)

(牧野村) (當古村) (三藏子村) 鍛冶村

千兩村 (長草村) (麻生田村) (三石原村) (雨谷橋村)

計貳拾八ヶ村

上長山局 上長山村ヲ以テ市内トス

上長山村 大木村 足山田村 東上村 松原村

江島村 西原村

計七ヶ村

形之原局 形之原村ヲ以テ市内トス

形之原村 西浦村 鹿島村 拾石村 (金平村)

計六ヶ村

小坂井局 小坂井村ヲ以テ市内トス

小坂井村 篠束村 下長山村 (西岡) 村 宿村

梅藪村 伊奈村 清須新田 長瀬村 前芝村

(瓜) 郷村 平井村 津田村 (大) 蚊里村 日色野村

行明村

計拾九ヶ村

渥美郡

市街戸長役場敷 二十九 市街中郵便局一ヶ所
町敷 七十五
村落戸長役場敷 七十六 内九ヶ所郵便局所在地
村敷

豊橋局

豊橋市街、並ニ豊橋村、内字ヲ以テ市内トス
旭町、新町、中瀬古町

船	三浦	指	花園	吉屋	新錢	福岡	飯	瓦	多	寶	下
町	町	町	町	町	町	村	村	町	米	飯	地
湊	菅	神明	神	吳服	豊橋	岩田	磯部	村	村	郡	村
町	町	町	町	町	村	村	村	村	村	郡	村
關屋	本	清水	清	曲尺	豊田	東田	東豊田	村	村	郡	村
町	町	町	町	町	村	村	村	村	村	郡	村
上	札	(紺)	(手)	(鍛)	花	青	牟呂	村	村	郡	村
傳馬	木	屋	間	治	田	野	村	村	村	郡	村
町	町	町	町	町	村	村	村	村	村	郡	村
松	魚	東	川	土	宮	袋	三	之	之	郡	村
葉	町	毛	毛	手	下	手	輪	崎	崎	郡	村
町	町	町	町	町	町	町	村	村	村	郡	村

計貳拾九ヶ町 内壹ヶ村八名郡
拾六ヶ村 壹ヶ村寶飯郡

田原局 田原村ヲ以テ市内トス

田原村 吉湖村 浦村 波瀬村 片濱村

白谷村 仁崎村 野田村 大久保村 加治村

大草村 豊島村 神戸村 南神戸村 東神戸村

西神戸村

計拾六ヶ村

畠村局 畠村ヲ以テ市内トス

畠村 高木村 山田村 古田村 保美村

中山村 堀切村 小鹽津村 和地村

計拾ヶ村

二川局 二川村ヲ以テ市内トス
大岩村

二川村 大岩村 谷川村 高師村 小島村

上細谷村 下細谷村

計七ヶ村

江比間局 江比間村ヲ以テ市内トス

江比間村 宇津江村 伊川津村 八王子村 村松村

石神村 馬伏村

計七ヶ村

老津局 老津村ヲ以テ市内トス

老津村 大崎村 植田村 杉山村 谷熊村

計五ヶ村

伊良湖局 伊良湖村ヲ以テ市内トス

伊良湖村 龜山村 日出村

計三ヶ村

赤羽根局 赤羽根村ヲ以テ市内トス

赤羽根村 高松村 芦村 若見村 越戸村

計五ヶ村

高塚局 高塚村ヲ以テ市内トス

高塚村 野依村 小松原村 寺澤村 七根村

赤澤村 伊古部村

計七ヶ村

六連局 六連村ヲ以テ市内トス

六連村 城下村

計二ヶ村

八名郡

戸長役場數 四十二 内六ヶ所郵便局所在地
村數 四十三 内壹ヶ村他郵便局ニ屬ス

富岡局 富岡村ヲ以テ市内トス

富岡村 黒田村 一畝田村 庭野村 中宇利村

小畑村 中山村 八名井村 平野村 萩平村

計拾ヶ村

賀茂局 賀茂村ヲ以テ市内トス

賀茂村 金澤村 西川村 小野田村 三上村

豊津村 橋尾村

計七ヶ村

吉川局 吉川村ヲ以テ市内トス

吉川村 黄柳野村 竹ノ輪村 日吉村

計四ヶ村

大野局 大野村ヲ以テ市内トス

大野村 一色村 巢山村 井代村 下吉田村

乘本村 (陸平川村) 上吉田村

計九ヶ村

能登瀨局 能登瀨村ヲ以テ市内トス

能登瀨村 名越村 名号村

南設樂郡 豊岡村

計四ヶ村 内一ヶ村南設樂郡

玉川局 玉川村ヲ以テ市内トス

玉川村 三輪村 嵩山村 馬越村 東下條村

西下條村 牛川村 犬ノ子村

計八ヶ村

乙第六十三號

明治十六年四月十七日

郡區役所
戶長役場

衛生學務兩委員職務上ニ付進達スヘキ公文類之義ハ本年本縣甲第三號布達約束郵便法限外ニ候處戶長ニ於テ右兩委員ヲ兼務候ニ就テハ自然該公文ノ如キモ戶長役場ノ公用書類ト混入發遣候テハ不都合ニ候條精々注意判別取扱可致此旨相達候事

乙第九十九号

明治十六年五月廿一日

郡區役所
戶長役場
浦役場

約束郵便法ニ依リ切手ヲ貼付セサル公文類差立數每半ケ年區切取調差出方之儀去ル十四年五月當縣第七拾号ヲ以相達置候處今般驛遞局ヨリ照會之次第モ有之候付自今該達ハ相廢止更ニ左之雛形之通改正本年七月分ヨリ已后ハ右ニ準據夫々種別諸件合封之分ハ其件數ニ對スル數ヲ以取調戶長役場浦役場ハ毎月五日限リ郡區役所ヘ差出郡區役所ニ於テハ其役所差立之物數共左之書式ニ倣ヒ報告表調整同十二日限リ縣廳ヘ可差出尤戶長役場浦役場ヨリ差出シタル調書ハ添付ニ及ハフ此旨相達候事

但吏員出張先ヨリ發遣之分モ無洩取調フヘシ且本年一月ヨリ六月迄六ケ月間ハ本文ニ準據月々區別取調ヲ要スト雖モ既往之儀ニ付

合封之分ニテ其種別難仕譯分ニ限リ適宜調整七月十日迄ニ差出ス
ヘシ

(雛形)

明治何年何月中約束郵便物數報告表

郡區役所差立物數

種類	個數
第一種	何個
第三種	全
第四種	全
合計	全

戶長役場全上

第一種	何個
第三種	全
第四種	全
合計	全

浦役場全上

第一種	何個
第三種	全
第四種	全
合計	全

總計

前書之通有之候也

年月日

縣令宛

郡區長氏名印

明治何年何月中約束郵便物數報告表

何郡何村戸長役場
何區何町浦役場
差立物數

種類	個數
第一種	何個
第二種	全
第三種	全
第四種	全
合計	全

前書之所有之候也

右

年月日

戸長氏名印
浦役人

郡區長宛

乙第百廿一號

明治十六年六月二十九日

郡區役所

戸長役場

人民私費ヲ以架設ノ橋梁渡津及私費崩墜ノ道路等郵便脚夫ノ飛信遞送并郵便物遞送集配特ニ配達ハタルヲ証スル服ヲ着シ配達スル時ノ時ニ限リ賃錢請求不相成旨
 客年三月當縣乙第五十一号ヲ以相達置候處自今郵便局ヨリ左ノ如キ印鑑相渡置候ニ付右所持ノ者ハ制服ノ着否ニ拘ハラズ賃錢請求不相

成旨更ニ内務省ヨリ被達候條右之趣關係之者へ遺漏ナク相達ヘク此旨相達候事

二寸五分

第 號

曲 尺 三 寸

何國
何地郵便局脚夫
何ノ誰

○明治十六年月日

何國
何地
郵便局

此印ハ會テ驛遞局ヨリ各郵便局へ渡シアル局印

乙第百五十七號

明治十六年八月廿一日

郡區役所

戶長役場

郵便物ノ速達ヲ要スル爲追々馬車人力車ヲ以遞送相成候ニ付而ハ馬

車人力車荷車等途上郵便物ヲ積載セル諸車ト行遇候トキハ可成丈道路ヲ譲リ駛行ノ障礙不相成様注意可致旨右營業者 示諭可致此旨相達候事

乙第百七十一号

明治十六年九月十五日

郡區役所

戶長役場

郵便條例第十六條ニ於テ禁止セラレタル物品及ヒ正當ノ手續ヲ爲サス貨幣ヲ封入シタル郵便物ヲ差出候者往々有之哉ニ相聞不都合之次第ニ候萬一心得違ヨリ右様違則ノ品ヲ差出同條例第二百廿七條ニ觸レ罰金ノ刑ニ處セラレ候様ノ儀有之候テハ以ノ外ノ事ニ候條左ニ相

示シタルモノハ決シテ郵便ニ差出サ、ル様注意スヘキ旨普ク諭達可
致此旨相達候事

郵便に差出を得ざる物品

一 毒藥

猛烈にして僅少の分量にても直ちに人の生命を傷害す、きもの

一 劇藥

毒藥の如く猛烈からざるも用量によりて危害を人に與ふ、き者

一 流動物

酒、油、醬油等の類

一 流動し易きもの

蠟燭、練油、膏藥の類

一 爆發し易きもの

硝磺、摺附木の類火を發し破裂するもの

一 燃燒し易きもの

硫黃、石灰、^さ類火發するもの

一 腐敗し易きもの

鳥獸肉、魚肉、菓物、乃類

一 孵化す、かきもの

蠶卵紙、繭其他の卵類

一 動物

蠶其他活きたる虫、鳥の類

一植物

草、木乃類

一鋒刀器

庖丁、小刀、錐、針の類

一硝子器

硝子板、硝子板に寫したる寫真其外硝子燒の器物

一陶器

一切土石の燒き物

一風俗を害すべき物品

淫奔猥褻なる文書、畫、圖、寫真の類

一金銀

金銀の地金、金銀にて作りたる物品、金銀にて飾りたる物品

一寶玉

大切なる玉類及び寶玉にて作りたる物品、寶玉にて飾りたる物

品

一貨幣

金銀銅貨、紙幣等通用の貨幣

但貨幣ハ貨幣封入郵便の手續をかすべきハ郵便に差出すを得

し

一石盤又は脆弱なる箱類或は濕氣を生じへきも乃其外都々遞送中自ら損し又ハ他の郵便物を損害及へた物品

乙第二百十七號

明治十六年十一月七日

郡區役所

戸長役場

戸長役場ヨリ名古屋始審裁判所へ宛タル郵便物中約束郵便ニ依リ差出候向有之往々未納収税ノ處支出方差支候旨ヲ以テ照會ノ次第モ有之右ハ戸長役場ヨリ裁判所へ宛差出ス郵便物ハ公用ト雖モ約束郵便限外ノモノニ候條將來右様ノ儀無之様精々注意發遣可致此旨相達候事

告第四十五號

明治十六年五月十八日

管下郵便局々名改稱及廢置爲替取扱方開設等相成候箇所左之通候條此旨告示候事

郵便局々名改稱

國名	郡名	舊稱局名	改稱局名
尾張	西春日井	下小田井	枇杷島
全	中島	起村	起
全	海東	福田	西福田
全	知多	三谷	小鈴ヶ谷

郵便局廢置

國名	郡名	局名	廢置月日
全	知多	三谷	小鈴ヶ谷

三河	南設樂	大	海	二月一日置
全	全	橫	川	一月三十一日廢
全	碧海	小	望	全
郵便爲替取扱開設				
國名	郡名	局名	名	開設月日
尾張	知多	野	間	五月一日
三河	寶飯	蒲	郡	全
全	額田	矢	作	全
驛遞局貯金預り事務取扱開設				
國郡名	驛町村名	局名及人名	開設月日	
三河碧海	西端村	西端局	五月十六日	

尾張愛知	熱田旗屋町	落合忠次	全
全	熱田白鳥町	竹内彌七	全
全西春日井	清洲驛	渡邊友三郎	全
全	岩倉村	柴田曾一	全
全	下切村	阿部謹三郎	全
全	常滑村	竹内仁平	全
全	龜崎村	伊藤七郎衛	全
三河幡豆	西尾須田町	辻利八	全
全	寶飯	齋藤惣兵衛	全
全	渥美	野口嘉平	全
全	豐橋船町	伊藤信五郎	全

全	全	豐橋花園町	曾田良吉	全
全	全	豐橋村	服部源助	全

○ 遞送

乙第二百五十一号 明治十六年十二月十五日

郡區役所
戸長役場

府縣遞送人途中旅費ノ義客年第五十号公布以前ノ分管下ニ於テ繰替タル金員未償還ノ者有之候ハ、其町村戸長ヨリ直チニ原籍戸長役場若クハ郡區役所ヘ至急償却方照會致スヘク此旨相達候事
但當縣下人民ニシテ他ヨリ遞送ヲ受ケ歸宅致シ該繰替金未償却ノ

者有之候ハ、是亦辨償方至急取計ヘシ

○ 警察

甲第九号 明治十六年二月六日

明治十四年當縣甲第貳百五拾六号布達違警罪罰則第四條ヘ左之通追加候條此旨布達候事

第四十三項 替翹營業稅則ニ關スル當縣布達ニ違犯スルモノ

甲第三十二号 明治十六年四月三十日

明治十四年於本縣甲第百拾壹號布達娼妓取締規則中第四條并第十二條但書席貸茶屋取締規則中第三條删除候條此旨布達候事

甲第四十四號 明治十六年五月廿二日

明治十四年當縣甲第二百五十六號布達違警罪罰則左ノ通り改正候條
此旨布達候事

違警罪罰則

- 第一條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス
- 第一 火葬場ニアラサル地ニ於テ屍体ヲ燒ク者
 - 第二 圍ヲ設ケテ圍鷄ヲナス者
 - 第三 利ヲ圖リ強テ他人ニ囑托ヲ要求シ又ハ物品ヲ強賣スル者
 - 第四 病牛死牛其他病死ノ禽獸肉ヲ知テ食用ニ販賣シタル者
 - 第五 贗造ノ飲食物ヲ知テ販賣シタル者

- 第六 磨砂及金剛砂ノ類ヲ混合シテ米麥ヲ舂搗シタル者
- 第七 出生死亡其他戶籍ノ轉換ヲ届出サル者
- 第八 無届ニテ寄留シ又ハ寄留セシメタル者
- 第九 旅籠屋及席貸茶屋ニテ止宿人並ニ遊客人名ヲ記載セス又ハ止宿人遊客ニシテ其身分職業住所姓名等ヲ詐稱セシ者
- 第十 旅籠屋渡世ニシテ強テ旅客ヲ誘ヒ又ハ故ナク旅客ノ投宿ヲ肯セサル者
- 第十一 旅籠屋渡世ニシテ宿引ヲ出シ又ハ其宿引ヲ爲ス者
- 第十二 湯屋渡世ニシテ男女入込浴湯セシムル者
- 第十三 神佛祭事ニ托シ人ニ妨害ヲナシタル者

第十四 婚姻祝儀等ノ節事故ニ托シ其家宅又ハ往來ニ妨害ナシタル者

第十五 喧嘩口論又ハ驚愕スヘキ噪鬧ヲナシ出セシ者

第十六 他人ヲ教唆誘導シテ喧嘩噪鬧ヲナサシムル者

第十七 行人ニ對シ又ハ人家ニ立入り強テ合力等申掛ケタル者

第十八 定リタル住居アリテ乞丐スル者

第十九 神佛祭事其他事故ニ托シ強テ出費ヲ促シタル者

第二十 堤防又ハ道路ヲ掘リ穿テタル者

第二十一 往來ニテ獸畜類ノ皮ヲ剥キ及肉ヲ屠リタル者

第二十二 小形旅客汽船取締規則ニ關スル當縣ノ布達ニ違背シタル者

者

第廿三 許可ヲ得スレテ社寺用ノ爲ニ境内又ハ其所屬地ノ竹木ヲ伐採セシ者

第二條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上壹圓以下ノ科料ニ處ス

第一 制止ヲ肯ンセス夜間十二時後ニ暨ニ歌舞音曲又ハ喧嘩ヲル者

第二 水除杭等ニ妨害ヲナス者

第三 溝渠下水又ハ田畝並養田水ニ土芥瓦礫ノ類ニ投棄シ其他妨害ヲナシタル者

第四 他人ノ漁獵場及物干場ニ妨害ヲナシタル者

- 第五 川筋へ竹木ノ類ヲ私カニ沈メ貯フル者
- 第六 私有地外ニ濫リニ標旗物干街燈建札燭火ノ見等ヲ建設シタル者
- 第七 私有地外ニ濫リニ日除ケ及釣招牌其他ノ物ヲ張出シタル者
- 第八 神官僧侶ニアラスシテ他人ノ爲メニ祈禱符呪等ヲナシタル者
- 第九 諸官署ノ呼出ニ應セサル者
- 第十 新聞及雜誌類ヲ讀賣スル者
- 第十一 海岸及河沿地ヨリ遠隔ノ地へ出船スル乗船場ニ於テ其船客ノ住所姓名ヲ記載セサル者

- 第十二 私用ノ爲メ旅行スル外國人ニシテ旅行免狀ヲ持タサルモノヲ私ニ止宿セシメタル者
- 第十三 他人ノ田水ハ勿論組合持ノ田水ヲ自儘ニ我田ニ引入レ又ハ汲入レタル者
但訴ヲ俟テ其罪ヲ論ス
- 第十四 道敷内ニ菜蔬豆類其他ノ植物ヲ植ヘタル者
- 第十五 社寺境内其他官有地等ニテ禁制ノ榜示アルヲ犯セシ者
- 第十六 戯ニ男ニシテ化粧シ女ニシテ男粧シ或ハ奇怪ノ扮飾ヲナス者
- 第十七 市街ヲナセル地ニ於テ醜躰ヲ爲ス甚シキ者

第十八 惡臭ヲ發スル肥糞桶ニ蓋ヲ用ヒスシテ市街ヲ爲セル地ヲ運搬スル者

第十九 汚穢物及石礫等ヲ人ニ投擲シタル者

但訴ヲ俟テ其罪ヲ論ス

第二十 官私ノ山林ニ立入り落葉等ヲ拾ヒ取りタル者

第二十一 水車水碓ニ妨害ナセシ者

但訴ヲ俟テ其罪ヲ論ス

第二十二 當縣馬車人力車營業取締規則ニ違背スル者

第二十三 酒類稅則又ハ車稅則ニ關スル當縣ノ布達ニ違背シタル者

第二十四 醫藥營業稅則ニ關スル當縣ノ布達ニ違背スル者

第二十五 埋葬若クハ火葬ノ承認證ヲ受ケスシテ葬儀ヲ依頼シ又ハ

其依托ヲ受ケテ葬儀ヲ執行シタル者

甲第四十五號

明治十六年五月廿三日

當縣四品商并ニ諸遊技場諸遊技興行各取締規則中左ノ通り改正候條此旨布達候事

一當縣明治十三年甲第二百五號布達四品商取締規則へ左ノ一條追加

第十一條 此規則ニ違背スルモノハ違警罪ヲ以テ罰セラルヘシ

一同十四年甲第八十號布達諸遊技場取締規則第五條中「若シ」ノ下

「來客中」ノ三字ヲ刪リ「爲サントスル者アルキハ」ノ下へ「場主ニ

於テ」ノ五字ヲ挿入然シテ第六條中「相當ノ處分スヘシ」トアルヲ

「違警罪ヲ以テ罰セラルヘシ」ト改ム

一同甲第百三十七號布達諸遊技興行取締規則第四條中演技ノ下ヘ「シ及之ヲ貸與」ノ六字第七條中駢馬ノ下ヘ「棒ノ手」ノ三字相心得ノ下ヘ「駢馬ハ尙」ノ四字ヲ插入并ニ第十二條中「相當ノ處分スヘシ」トアルヲ「違警罪ヲ以テ罰セラルヘシ」ト改ム

甲第五十七號

明治十六年七月廿八日

明治十四年當縣甲第二百四號ヲ以テ警察所轄町村區別ノ儀布達及ヒ置候處勝川分署所轄西春日井郡ノ内杉村ノ義自今枇杷島警察署直轄セシメ候條此旨更ニ布達候事

甲第七十五号

明治十六年十月十九日

巡查召募規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事

(別紙)

巡查召募規則

第一條 巡查ハ志願ノ者ヲ以テ試験シ合格ノ上採用ス其定格ノ要項左ノ如シ

一年齡 滿二十年以上四十五年以下ノ者但シ本項ノ前後ト雖モ體質強壯ニシテ職務ニ耐ル者ト認ムル中ハ採用スルヲアルヘシ

一身幹 曲尺五尺以上ノ者

一體質 強壯ニシテ職務上ニ害アル疾病ナキ者

- 一 讀書 普通ノ文書ヲ讀得ル者
 - 一 作文 普通往復文ヲ綴リ得ル者
 - 一 滿二ケ年以上勤續差問ナキ者
- 第二條 前條合格ノ者ト雖モ左ノ事項アル者ハ採用セス
- 一 徵兵ニ當リ徵集ニ應スヘキ者
 - 一 新法ニ依リ禁錮以上ノ刑ヲ受ケ及ヒ舊法ニ於テ懲役實決ノ刑ヲ受ケタル者
 - 一 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者
 - 一 巡查懲罰例及ヒ官吏懲戒例ニ依リ免職ノ後二ケ年ヲ經サル者
 - 一 巡查ニシテ二ケ年以内ニ辭職シ未タ一ケ年ヲ經サル者

第三條 巡查ヲ志願スル者ハ別紙書式ニ準ヒ其志願書ニ誓約書附歴書身元引受書ヲ添ヘ警察本署ヘ出願スヘシ

但遠隔地居住ノ者ハ便宜最寄警察署ヘ出願スルヲ得

第四條 身元引受人ハ親屬故舊其他何ノ緣故ヲ問ハス本縣下在村又ハ寄留ニシテ正確ナル者ニ限ルヘシ

書式 用紙半紙

巡查志願書 正副
二通

何府何國何郡何町何番邸華士族平民

何某何男 又、叔甥
兄弟孫

(何府何國何郡何町何番邸某方寄留)

右ハ本縣巡査奉職仕度候ニ付御檢査ノ上御採用被成下度此段奉願候也

何 某

年号月生何年何ヶ月

明治年月日

右 何 某印

愛知縣令何某殿

前書願之趣相違無之候條與書候也

何郡區何町村戸長

何 某印

明治年月日

誓約書

何縣何國何區何村何番邸華士族平民

何某何男又ハ叔甥兄弟孫

何 某

今般巡査志願候處御採用相成候上ハ左ノ條項確守可致候

一職務ノ規則及ヒ上官ノ命令ヲ遵守スル事

一滿二年内ニ辭職セサル事

一職務上權外ノ事ヲ論議セサル事

一濫リニ金錢ヲ借用セサル事

一飲酒ニ耽リ又ハ遊惰放蕩ヲ爲サ、ル事

右誓約候處相違無之候也

明治年月日

愛知縣令何某殿

右

何

某印

身元引受書

何府何國何區何町何番邸華士族平民

何某何男何某又ハ叔甥兄弟孫

何

某

右ハ今般本縣巡査志願候處御採用相成候上ハ本人一身ニ關スル義ハ何事ニ限ラス引受可申ハ勿論萬一負債等ノ不都合相讓候節ハ私ニ於テ弁償可致候依テ身元引受證書如斯候也

身元引受人

何府何國何區何町何番邸華士族平民

(何府何國何區何町何番邸某方寄留)

何

某印

明治年月日

愛知縣令何某殿

履歷書

何府華士族平民(元何藩)

何

某

年号干支何月生

明治年月日

一何々申付候事

何省廳

百二十八

明治年月日

一補何々

何府縣

明治年月日

一任何々

何々

明治年月日

一免本官

何々

明治年月日

一何々ニ付賞罰

何々

右之通御座候也

明治年月日

何

某印

乙第百卅四號

明治十六年七月十六日

郡區役所

戸長役場

被監視者旅行ノ義ハ管内ト雖モ警察署所轄外へ出ルモノハ出入トモ
必其警察署又ハ分署へ届出サスヘシ此旨相達候事

乙第百九十八号

明治十六年十月十二日

郡區役所

戸長役場

長崎縣下ノ者當管内於テ貸座敷并娼妓營業ヲ爲サントスル者ハ該縣
警察署又ハ分署ノ添翰ヲ所持シ出願可致答ニ付右添書無之者ハ許可
不相成義ト可心得此旨相達候事

乙第貳百號

明治十六年十月十五日

郡區役所

戸長役場

栃木縣之婦女當管下ニ於テ娼妓渡世ヲ營マントスル者ハ該縣警察署ノ副翰ヲ所持シ出願スルモノニ非サレハ許可無之様致度旨同縣ヨリ照會有之候條此旨相達候事

乙第百二號

明治十六年十月十九日

郡區役所

戸長役場

福井縣之者當縣下於テ貸座敷并藝娼妓營業出願之者ハ該縣郡役所又

ハ警察署ノ添翰ヲ所持可致答ニ付右添翰無之者ハ許可不致様該縣ヨリ照會有之候條此旨相達候事

乙第百四號

明治十六年十月二十日

郡區役所

戸長役場

石川縣并秋田縣下之者當管内ニ寄留之上貸座敷營業ヲ爲サント欲スル者ハ該縣警察署ノ添翰ヲ所持シ出願可致答ニ付右添翰無之者ハ許可不致様右兩縣ヨリ照會有之候條右様可取計此旨相達候事

乙第百七號

明治十六年十月二十二日

郡區役所

百二十

戸長役場

鳥取縣下ノ者當縣下於テ貸座敷并娼妓營業ヲ爲サント欲スル者ハ該縣警察署ノ添翰携帶シ出願可致答ニ付右添書無之者ハ許可不相成義ト可心得此旨相達候事

乙第二百二十一號

明治十六年十一月九日

郡區役所

戸長役場

長野縣下ノ者當縣下於テ貸座敷并娼妓營業出願之者ハ渾テ該縣ノ添書所持可致答ニ付右添書無之者ハ許可不致様該縣ヨリ照會有之候條右様可相心得此旨相達候事

乙第二百二十七號

明治十六年十一月十七日

郡區役所

戸長役場

大坂府下ノ者當縣下於テ貸座敷并娼妓營業出願ノ者ハ本籍所轄警察署(大阪四區ハ)ノ添翰所持出願可致答ニ付右添翰所持ノ者ニ限り許可可致此旨相達候事

乙第二百廿九號

明治十六年十一月二十日

郡區役所

戸長役場

函館縣下ノ者當縣下於テ貸座敷并娼妓營業出願ノ者ハ本籍所轄郡

區役所ノ添翰所持可致答ニ付右添書所持ノ者ニ限り許可可致此旨相達候事

○徵發

乙第二十四號

明治十六年二月十二日

郡區役所
戸長役場

徵發事務條例布達相成候ニ付テハ同條例第二十一條及第二十五條ニ從ヒ郡區長ニ於テハ該條例附錄第三號雛形ニ依リ物件表ヲ調製シ毎年二月中本廳へ差出シ戸長ニ於テハ同上第五號雛形ニ依リ船舶表ヲ調製シ毎年二月中郡區長へ差出郡區長ニ於テ取纏三月五日限り本廳

へ差出スヘシ此旨相達候事

乙第八十二號

明治十六年五月一日

郡區役所
戸長役場

徵發物件表取調方別紙之通 相心得實際行届様可取計此旨相達候事

(別紙)

徵發物件表取調心得書

一徵發物件表ハ條例附錄第三號書式之通リ調製シ毎年二月限り郡區長ヨリ正副二通差出スヘシ

但二郡合併ノ郡役所ニ於テハ各郡別ニ調製スヘシ

一物件表用紙等ハ別紙之通りタルヘシ

一表中種別詳細ヲ左ニ掲ク

一戸長役場所在ノ地名ト町村名ト重複スルモ之ヲ略記セス各其欄内ニ記載スヘシ

一各戸坪數ハ床張土間ノ差別ナク建坪ニ依リ其周圍締内ノ坪數ニシテ起臥及營業等ニ必用ノ場所ト雖モ表中ニ算入シ備考欄註ニ再タヒ其必用ノ坪數及事由ヲ掲クヘシ

一人夫ハ農夫土方車夫鳶人足或ハ行商（野菜魚油漬物等ノ荷ヒ商人）等入夫ノ力役ニ可堪業体ヲ爲ス年齢十七歳ヨリ六十歳ニ至

ル迄ノ男子タルヘシ

一物産ハ米麥ニ限り收穫高ヲ記載シ其他ハ名稱ノミヲ掲クヘシ

但米麥收穫高ハ何斗何升何合ト詳記スヘシ

一大八七車ハ齒板ノ數ニ從ヒ中小車ハ地方ノ慣例ニ依リ取調ヘシ

一牛合計ハ牝牡ヲ問ハス荷物ノ運輸ニ堪ルモノヲ掲クヘシ

一馬合計ハ車馬乘馬馱馬（牝牡ヲ問ハス）ハ勿論其他種馬等運輸ニ堪ルモノヲ掲クヘシ

一〇〇其他ノ符合ハ表中各町村名ノ左方ニ附記スヘシ

一表中數字ハ鮮明ナルヲ要ス故ニ墨汁ノ薄キ又ハ鉛筆ヲ用ユヘカラス

一備考ニ掲クル職工名ハ可成陸海軍ニ必用ナルモノヲ詳記スヘシ

一物件表ノ表書ハ左ノ通認メ仮綴ニテ差出ヘシ

徵發物件表

某郡區役所

一表中戸數人口等概覽表別紙書式ノ通り取調本表ト共ニ差出スヘシ

徵發物件概覽表

某郡區役所

- 一戸數 何萬何戸
- 一人口 男何十何万人
女全
- 一人夫 何万何千人
- 一牛 何百疋
- 一馬 全
- 一車輛 何千何十輛

一物産

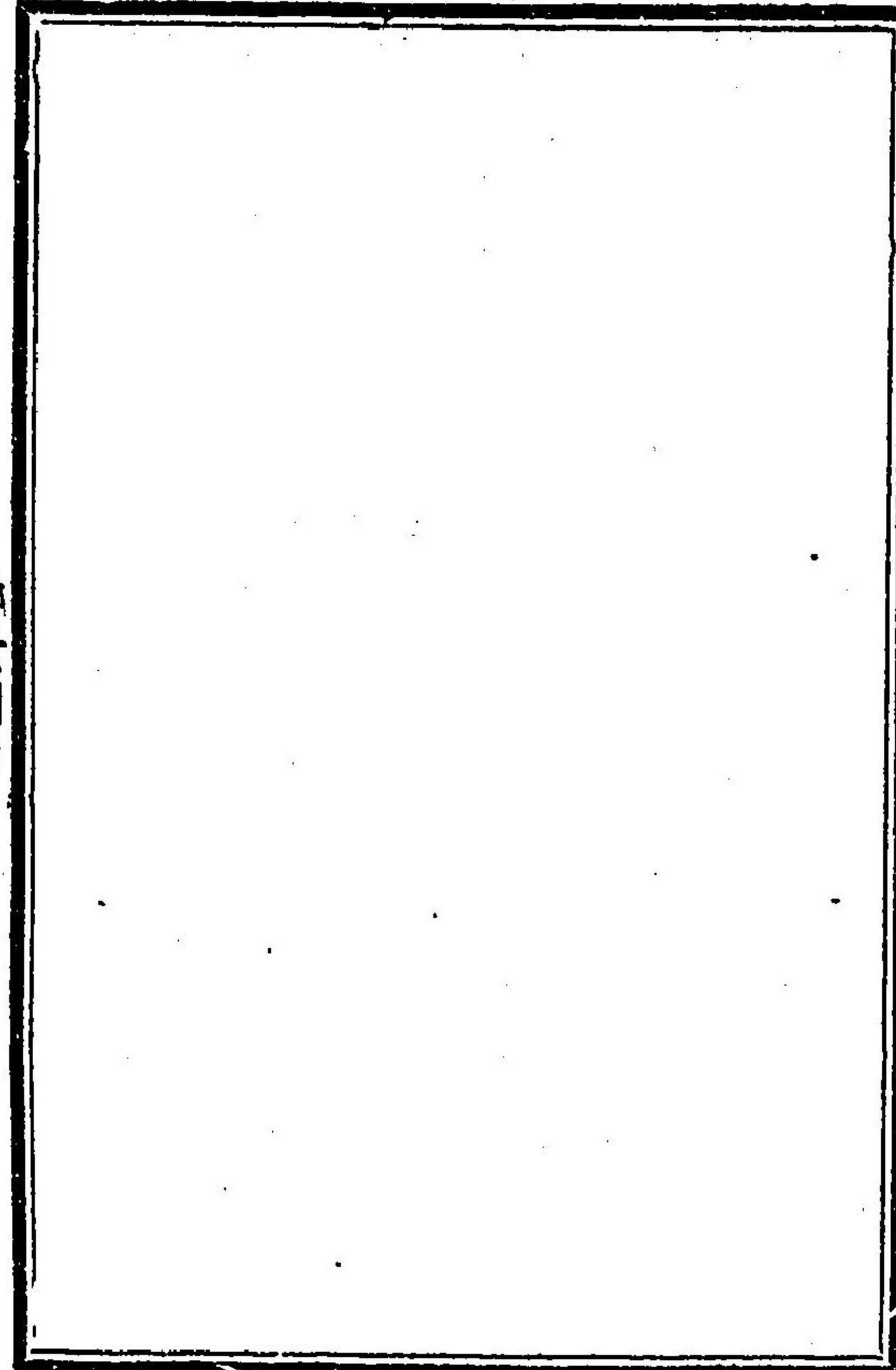
米何十何万石何斗升合

粟黍大豆
麥全 薪鹽何々

(別紙)

用紙美濃紙

七寸五分



天餘白
壹寸

地餘白
四分

七寸二分

百二十四

乙第百九十九號

明治十六年十月十二日

郡區役所

戶長役場

本年當縣乙第八十二號達徵發物件表取調心得書中左之通改正候條此旨相達候事

第一條 但書 改正

但數郡ヲ合シテ一郡長ヲ置キ數町村ニ一戶長ヲ置キタルモノハ一郡又ハ一町村ト見做シ取扱ヘシ

第三條 五項 改正

一馬合計ハ乘馬駄馬ヲ除クノ外耕作用ノ馬及馬車馬種馬ノ類ヲ掲ク

乙第百九十九號

明治十六年十月廿七日

郡區役所

戶長役場

徵發令第八條ニ依リ徵發事務取扱手續左之通相定候條此旨相達候事

徵發事務取扱手續

第一條 徵發令第十二條第一項ノ縣ノ供出ニ係ル徵發物件ニ付陸海

軍官憲ヨリ徵發書ヲ受ケタル中ハ其差出場所ノ便宜及物件ノ種類量數等ヲ酌量シ其賦課額ヲ定メ一郡區長或ハ數郡區長ニ達スヘシ郡區長ハ特ニ派遣セシ主任官及戶長ト協議シ時期ヲ誤ルコトナク其供給ヲ完全スベシ

第二條 郡區長ニ於テハ前條ノ達テ受ケ其負數ニ滿能ハサルニ於テハ速ニ届出ヘシ

第三條 郡區長ニ於テハ縣ノ供給ニ係ル物件ノ概テ現存高ヲ調査シ平素ニ注意スヘシ

第四條 郡區長及戸長ニ於テハ徵發令第八條之通臨時徵發ニ應スヘキ便宜方法ヲ豫定シ置クベシ

第五條 郡區長戸長ニ於テハ郡區及町村ノ徵發區ニ係ル徵發物件ヲ差出場所へ輸送スル運送費徵收方法ヲ豫定シ置クベシ

第六條 臨戰若クハ合圍ノ地ニ在ッテ縣ノ徵發區ニ付スヘキ物件ヲ直ニ郡區長又ハ戸長ニ付セラレタルハ速ニ供給ノ手續ヲナシ追

テ頭末詳細届出ヘシ

第七條 縣ノ供給ニ係ル物件ハ可成營業者ノ賣品ヲ徵スヘキ趣意ニ付他ノ人民ニ多量ノ物件ヲ貯藏スルモノアルモ營業者ヲ先トシ尙完全ナラサルハ他ノ貯藏者ニ及スヘシ

但營業者所有ノ物品ハ徵發書ノ日附ヨリ前十日間ニ管内へ賣拂ヒタル量ヲ所有者ノ許ニ殘シ置クヘキ目的ニ付縣ノ賦課ヲ受ケタルハ郡區長ハ郡區書記或ハ戸長ヲシテ其所有者ノ帳簿ニ基キ算定ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 徵發事務條例第八條割註親族又ハ同品營業者ヲ證人ニ立ル場合ニ於テハ成ルヘク物主ト營業士交際アルモノヲ戸長ニ於テ撰

定スヘシ

第九條 郡區長戸長ニ於テ徵發書ヲ受ケタルキハ速ニ届出ルモノト

ス戸長ニ在ツテハ郡區長ヘモ報告スヘシ

第十條 郡區長戸長ニ於テ陸海軍官憲ヨリ評價ノ爲派出スヘキ旨通

達ヲ受ケタルキハ前條同様届出ヘシ

乙第二百十四號

明治十六年十一月二日

郡區役所

戸長役場

本年計當縣乙第百九十九號達中裏一行目第三條(五項)ハ(七項)ノ誤
寫ニ有之候條此旨相達候事

○勸業

明治十六年十月二十二日

明治十四年計當縣甲第百九十七號布達中左之通正誤ス

正誤

明治十四年^{十月}當縣甲第百九十七號布達中同年^計甲第^{二百}六號^トアル

ハ同十二年^甲第^{二百}六號ノ誤

乙第六十號

明治十六年四月十七日

郡區役所

明治十一年本縣乙第三十八號達ニ係ル牛馬調之儀ハ取調上ノ都合有
之候條毎年二月廿八日限無延延可差出此旨相達候事

百三十七

乙第六十一號

明治十六年四月十八日

郡區役所

戶長役場

今回米國ニ於テ屢製茶輸入制禁條例發布之聞有之候ニ付テハ貿易上關係不少儀ニ付農務局ヨリ照會之次第モ有之候條該業者ニ於テハ別紙之旨趣ニ據リ精々注意致候様懇諭可致此旨相達候事

(別紙)

茶業者ノ注意

往時本邦茶園未タ多カラサリシ頃ニ於テハ需用ノ急ナルニ際シ茶葉中ニ柳葉或ハ杓杞葉ナトテ以テ混合セシモノアリシカ近來我茶ノ信

用海外ニ失ヒ供給ノ高需用ニ超過シ從テ價格ヲ落シ其學費ノ償ハサルヨリ却テ茶樹ヲ拔去リ他ノ作物ニ換ヘントスルノ景況ナレハ復他物ヲ雜フルカ如キ迂遠ノ屢造者ハナカルヘント雖モ猶大ニ憂フヘキモノアリ即チ日乾粗製及ヒ乾燥貯藏荷造等ノ完全ナラサルヨリ固有ノ香味色澤ヲ變敗セシムル是レナリ又外國商人ハ徒ニ其外貌ヲ飾リ奇利ヲ射ンカ爲メ支那綠茶ノ製ニ倣ヒ藥品ヲ用ヒテ粗製茶ニ着色シ今ヤ恬トシテ恠マス却テ今日普通ノ事トナルニ至レリ
貿易ノ初メニ當リテハ此等ノ弊寡カリシカ故ニ我製茶ハ大ニ米國消費者ニ愛賞セラレ生産者ハ從テ良製ニ盡力シテ怠ラサリシモ近來外商輩カ競テ粗製茶ニ着色シ消費者ヲ欺ントスルヨリ其購買スル所ノ

茶葉ノ價精粗常ニ權衡ヲ失ヒ精製ノ利ハ却テ粗製ノ益ニ迫ハス然レトモ他ニ販途ナキヲ以テ己ムコトヲ得ス居留外商ニ放賣セリ而シテ我茶商ハ其消費者ノ信用如何ヲ知ルニ由ナク徒ニ其損失ヲ補ハンコトヲ欲シテ精製茶ニ日乾等ノ粗製ニ混合シ或ハ斤量ヲ減センコトヲ惜ミテ仕上ケ乾燥ヲ粗漏ニナシ或ハ競賣ヲ事トシテ貯藏荷造ヲ不完全ナラシメ一時ノ僥倖ヲ博セント欲シテ却テ緊要ナル香味色澤ヲ變敗セシメ非常ノ損害ヲ招クカ如キ比々皆是ナリ外面ハ之ニ乘シテ益廉價ニ之ヲ購求シ巧ニ着色シテ精品ニ混合シ消費者ヲ欺クノ手段ヲナセルニヨリ愈我茶ノ信用ヲ失ヒ輸額ヲ減少スルニ至ル抑賣製茶ノ人生ニ害アル固ヨリ論ヲ俟タス英國於テハ曩ニ條例ヲ發

行シ藥品ヲ用ヒテ着色セル綠茶ノ輸入ヲ禁セリ着色少量ヲ濠洲ウイケトリア洲ニ於テモ亦昨十五年二月己ニ此制ヲ設ケタリ然ルニ我製茶ヲ消費スル米國ニ於テ何故是迄之ヲ緩慢ニ附セシカヲ恠ミタリシカ今ヤ左ノ報ヲ獲タリ

質製茶輸入制禁條例

第一條 一千八百八十三年七月一日以任質製茶ヲ合衆國へ賣捌ノ爲メ輸入スルコトヲ制禁スヘシ

第二條 凡テ茶葉及茶ト稱スル他葉トモ外國ヨリ輸入スルニ當テハ通關前ニ送品目錄ニ記載ノ通り其品質純粹ナルヤ否ヤヲ檢査シ及其價格ヲ鑑定スヘシ

第三條 右検査ニ於テ茶葉ニ雜品ノ價造物アルヲ發見シ分析ノ上飲用ニ適セサル危害物ト認ムルトキハ其事實ヲ送前目錄ニ記載スヘシ此ノ如ク有害ナルヲ記載レタル送品目錄ニ對スル茶政ハ茶ト稱スル他葉トモ持主又ハ荷受主ニ於テ再ヒ其検査ヲ出願スルヲ得ヘケレト前検査ノ誤リナルヲ發見スルニ非サルヨリハ決シテ其進關ヲ許サ、ルヘシ

第四條 再検査ニ於テ愈々價造物ナルヲ發見セシトキハ其茶ハ税關ニ留置クヘシ但シ持主又ハ荷受主ハ合衆國ニテ生シタル倉敷及其他ノ雜費ヲ支拂ヒ充分ナル保証ヲ立ツルニ於テハ再検査後六ケ月中ハ合衆國外へ再出スルヲ得ヘキモ其期限ヲ經過スルキハ税關

官吏ハ其物品ヲ沒滅シ持主又ハ荷受ヨリ再輸出ニカ、ルヘキ諸入費ヲ合衆國ニ對シ辨償セシムヘシ

第五條 茶質検査及ヒ價格鑑定ハ其輸入港ノ品評官之ヲ爲スヘシ又品評官無之港ニ於テハ和稅吏之ヲナスヘシ

但大藏卿ノ差圖アルキハ此限ニ非ス

此條例若シ發布セハ本年七月一日ヨリ之ヲ實施シ嚴ニ濫惠茶ヲ防遏シテ其跡ヲ絶タントスルモノ、如シ恰モ是レ我茶ノ輸出季節ニ當レリ當業者タルモノ宜シク專心以テ惡弊ヲ一洗シ益々日本茶ノ隆盛進殖ヲ圖ルヘシ(去ル十二年ノ頃ヨリ我純粹ナル本色茶ハ稍其輸額ヲ増加シ既ニ昨十一年ニ及ンテハ輸出總額凡三分ノ一即ニ一千万斤ヲ輸出セシニ非スヤ)若シ今日ニシテ猶之カ改良ヲ怠ラハ内ハ以テ不測ノ損敗ヲ來シ外ハ

以テ我國産ノ聲價ヲ失ヒ遂ニ復挽回ノ期ナキニ至ラントス豈猛省セサルヘケンヤ因テ左ニ改良ノ要點ヲ示シ以當業者ノ特ニ注意センコトヲ望ム

第一 培養摘葉ニ注意シ茶ノ香味色澤ヲ佳良ナラシムル事

第二 乾茶ヲ止メ他ノ便利ナル製法ニ改良スル事

第三 仕上乾燥ヲ十全ナラシムルヘキ事

附乾燥器ヲ改良スル事

第四 貯藏ヲ精密ニシ荷造ヲ完全ナラシメ變味變色ヲ防ク事

明治十六年

農務局

乙第二百二十四號

明治十六年十一月十六日

郡區役所

戶長役場

坑業明細表差出候節自今試堀借區ハ證券之番号又採取爐稼ハ許可之節願書エ記載ノ番号ヲ記入致シ差出候様可取計旨工部省ヨリ被達候ニ付此旨相達シ候事

但試堀延期讓渡廢業其他坑業人ニ關係書類差出候節モ總テ本文同様可相心得候事

乙第二百二十六號

明治十六年十一月二十一日

郡區役所

戶長役場

借區開坑出願之節坑法第九款第二項ノ規則不了解ヨリ認方粗漏之圖
面差出候向モ有之不都合ニ付以來別紙雜形ニ照準測量圖ヲ調製差出
候様可取計旨工部省ヨリ達之次第有之候條此旨相達候事

乙第百廿六号別紙

何縣何國何郡何柵字何

何鑛借區願地尺度本形何今一或八何實測圖

官地字何 何坪

民地字何 何坪

合計何坪

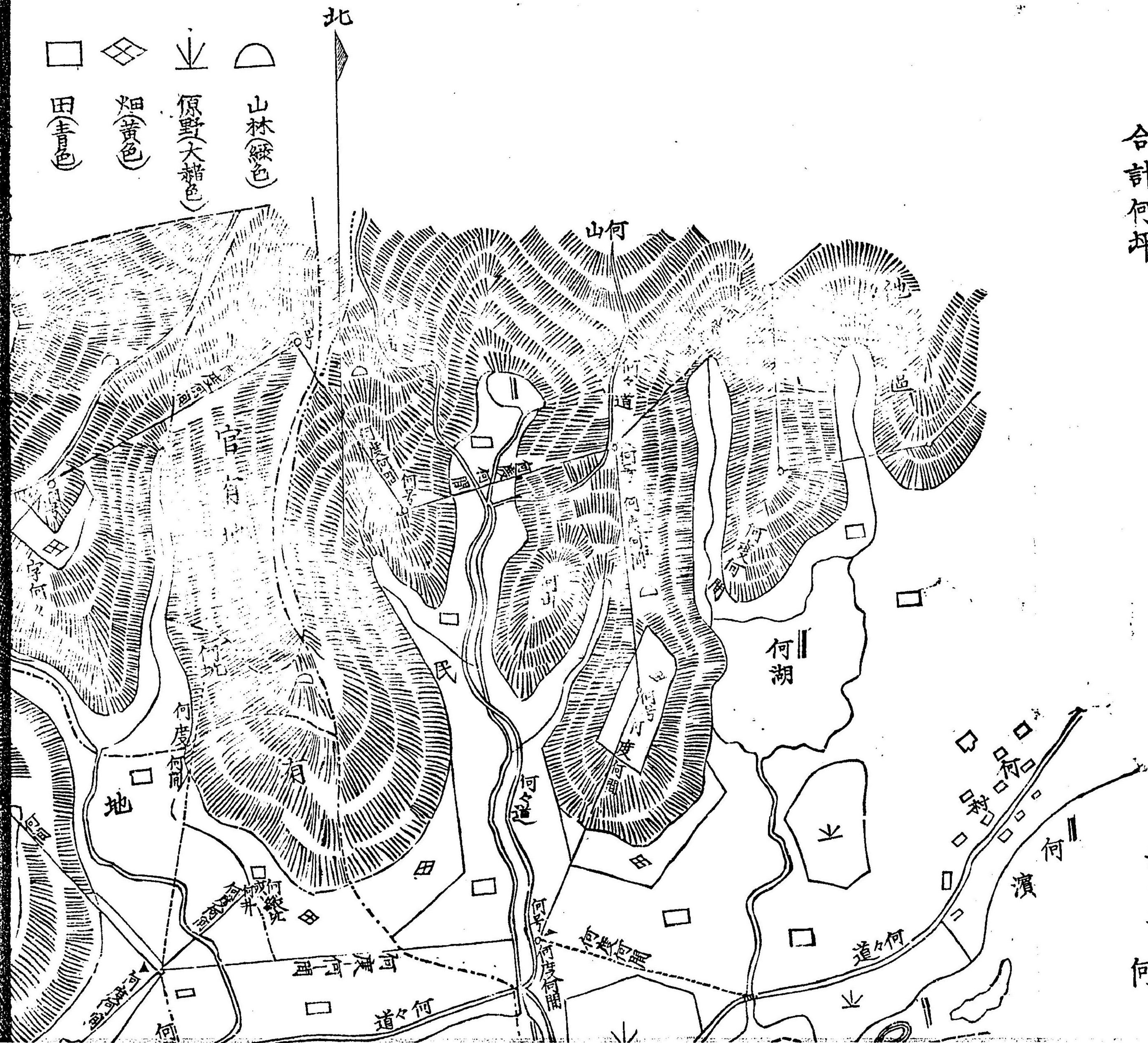
何縣何國何郡何柵何

願人何

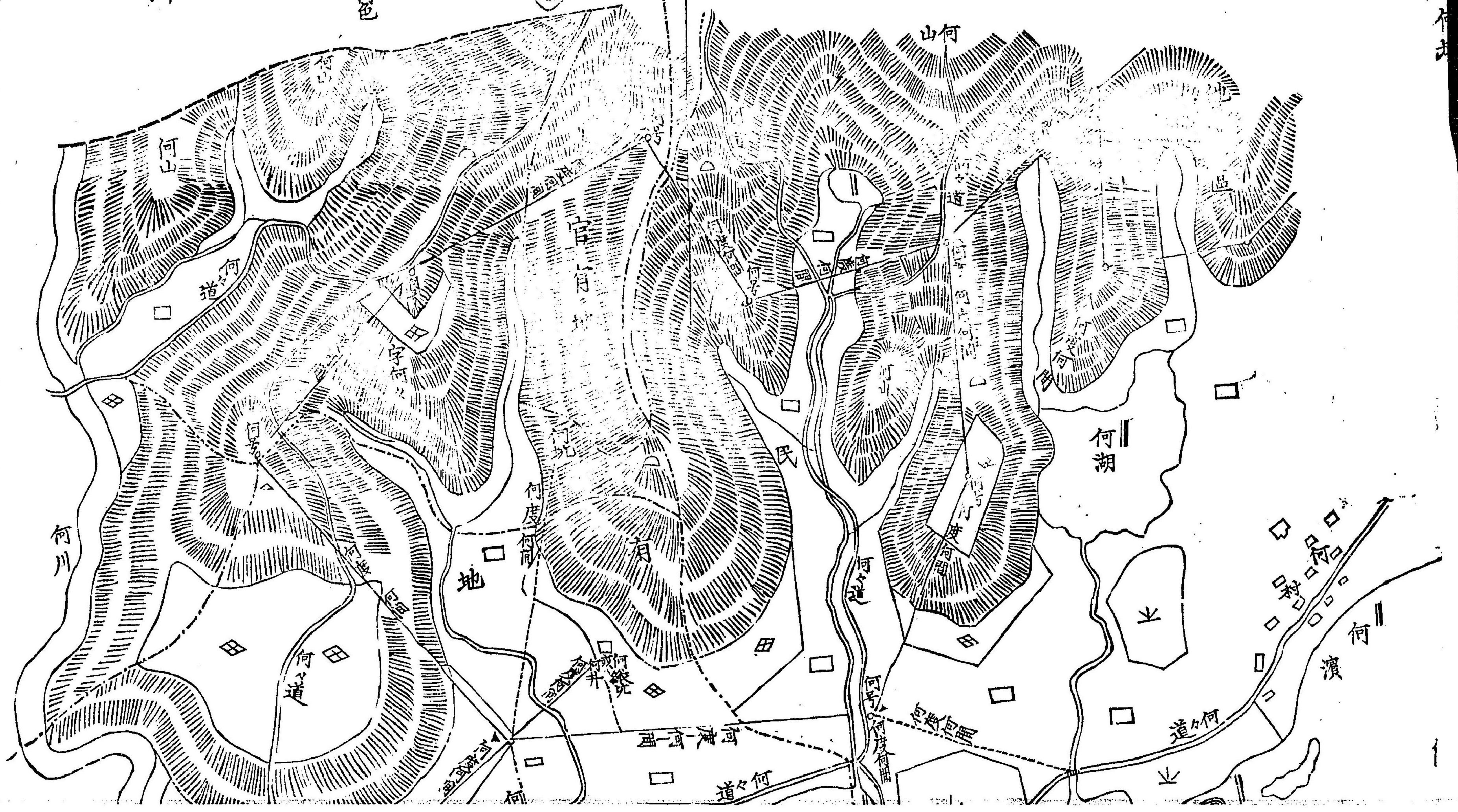
地主何

隣借區人何

地元戶長何



- 北
- 山林(緑色)
- 原野(大赭色)
- 畑(黄色)
- 田(青色)
- 河溝及湖沼(薄色)
- 国界
- 郡界
- 村界
- 字界
- 官民有地界
- 堤防
- 道路
- 借區線



志万坪以内ノ借區ニ於テハ圖上△或ハ▲印ノ如キ其區界多兩端ニ確守トシテ容易ニ動カスニカラサル物ヲ若
 志万坪以上ノ地ニテハ△或ハ▲印ノ如キ其區界多兩端ニ確守トシテ容易ニ動カスニカラサル物ヲ若
 ノ深サニ打込ミ枕ノ頭部凡ニ三寸ヲ地面ニ出シ置クヘシ或ハ其近傍ノ道路ニ四ツ角ノ如キ地カ又ハ郡界村界等
 點トシテ測量シ或ハ其枕ヨリ何方位何間等ヲ測リ別ニ記セシ如キ方四寸ニ下ラサル枕ヲ同様ノ深サニ打込ミ
 ナレ圖ノ如ク其近傍他借區尙ハ少クモ二箇所其借區何番枕ヨリ他借區ノ何番枕ヲテ方位及巨細ヲ測リ圖
 増減借區ノ片ハ原圖ノ製シ基準ノ増区前々様圖ノ式ニ依ルヘシ減區ノ片ハ其區域ハ無彩色ニ製スヘシ
 何号トアルハ基点ヨリ一二三ヲト順次記載スヘシ

乙第二百三十二号

明治十六年十一月廿六日

郡區役所

戶長役場

日本坑法第八章第三十一款改正増補之義十四年九月第四十九号公布
相成候處處分方遷延ノ向有之候テハ不都合候條以來怠納者ハ二月一
日ヲ以斷然証券取揚ケ營業禁止候儀ト可相心得旨工部省ヨリ御達之
趣モ有之候條此旨相達候事

但本文ノ場合ニ於テハ同法第三十二款ニ照シ税金徵集ニ不及候事

○山林

甲第四十八號

明治十六年六月四日

客年當縣甲第六十九號布達竹林貸渡規則中請證難形今般其筋補知之次第有之別紙之通更正候條自今右ニ照準可致此旨布達候事

(別紙)

官藪拜借御許可ニ付御請

- 一 今般何國何郡何町字何官藪反別何程當何年何月ヨリ來ル何年何月迄何ケ年季拜借御許可ニ付テハ右年限中ハ左ノ條々遵守可仕候
- 第一 竹數目通大小等ハ別紙記載之通返地ノ期ニ至リ減少ヲ生セサル様可仕若シ減少ヲ生シ候キハ御指令之日限通り相當ノ償金上納可仕候

(樹木アル中ハ此ノ但書ヲ加フ)

但該官藪中ニ有之別紙記載之樹木ハ拜借外ノモノニ付一切伐採不仕候

- 第二 拜借年限中ハ周圍之藩籬等堅固ニ取設ケ嚴重保護可仕候
- 第三 仮令拜借年限内タリモ立竹ヲ濫伐シ或ハ他人エ又貸等ハ勿論藪相ヲ損敗シ或ハ官藪中エ樹木ヲ植付ケ又ハ開墾ヲ爲シ若クハ小屋掛等決シテ致間敷候
- 第四 御定メ相成候拜借料金何圓何拾錢ハ年々六月十月限リ無相違上納可仕候
- 第五 拜借年限中ト雖モ土地ヲ荒シ保護ヲ怠リ不取締之義有之節ハ勿論官之御都合ニヨリ返地之義御達有之候得ハ其際無異儀速

ニ返納可仕候

但此場合ニ於テハ料金月割ヲ以テ上納可仕候

第六 第一償金第四拜借料金共本人ニ於テ上納不致節ハ保証人ヨリ無相違代償可仕候

第七 追テ官敷ノ儀ニ付一般ノ御規則御制定相成候キハ諸事該御規則遵守可仕候

右之項々堅ク相守違背仕間敷候依テ保証人連署之上右御請申上候也

何國何郡何町何番地

族藉

本人 何之誰印

年月日

何村何番地

保証人 何之誰印

同

同 何之誰印

縣令宛

右之通相違無之候也

右町戸長 何之誰印

(別紙)

反別竹木敷取調書

何國何郡何町何字何官敷

一反別何程

此立竹何程

但 若竹 淡竹
江南竹

内譯

立竹何程

目通何寸回

同 同

同 同

同 同

同 同

外

何立木 何程

目通何寸尺回 拜借外之分

右之通今般御調査之末御貸渡相成候處相違無之候也

何國何郡何町何番地

族籍

年月日

本人 何之誰印

何村何番地

保証人 何之誰印

同

同 同

縣令宛

右之通相違無之候也

右町戸長 何之誰印

告第六十八号

明治十六年八月七日

部分木條例ニ據リ其許可ヲ得テ薪炭木ヲ(檜桐榛等濶葉樹ノ類)栽培
シ十年乃至十二三年ヲ經專ラ薪炭ニ供スルニ足ルモノ該條例第八條

ノ年限ヲ埃タスシテ伐採願出ツルキハ最初ノ部台ニ基キ配賦スヘキ
儀ト心得ヘシ此旨告示候事

○出納

乙第六十五号

明治十六年四月十八日

郡區役所

明治十五年於丁第八拾貳號達經費科目條例別紙之通改定候條來十六
年度ヨリ施行スヘシ此旨相達候事

但經費勘定帳及決算帳ハ本文科目ニ依リ編製スヘシ

(別紙)

郡區經費科目條例

第一條

經費科目ヲ分ツテ大中小ノ三科目トス

第二條

毎大科目ヲ分ツテ中科目ヲ置キ毎中科目ヲ分ツテ小科目ヲ置キ小科
目中附スルニ細節ヲ以テス

第三條

中科目以上ノ費額ハ彼是流用スルヲ許サス若シ止ムヲ得サル事故ア
リテ中科目ノ金額ヲ彼是流用セントスル時ハ明治十三年仁本縣乙第
貳拾七號達書式ニ倣ヒ其事由ヲ詳具シ伺出ヘシ

第四條

各科目ハ別紙ノ通之ヲ定ム小科目ハ毎歳費用ノ有無ニ依リ取捨スルヲ得ヘシ

第五條

經費中許可ヲ經テ施行スヘキ條件ハ總テ從前ノ通心得ヘシ

區郡役所々管經費科目表

大科目	中科目	小科目	細節
某區郡役所	俸給		
雜給		區郡書記月給	備生給料モ此内ニ編入ス

旅費	郡區書記以下旅費及急行人力車備費
備給	給仕小使給料備人夫賃消防夫足留賃 枚數當リヲ以テ給スル寫字料等
滿年賜金	郡區書記滿年賜金 (實費ニ就キ下附スルヲ以テ豫算帳ニハ掲載ニ及ハス)
賞與	郡區書記及備生事務勉勵賞與其他恩賜金 (實費ニ就キ下附スルヲ以テ豫算帳ニハ掲載ニ及ハス)
手数料	爲換方給料爲換手数料新聞紙廣告料等
應費	備品椅子テーブル書籍出納帳簿等
消耗品	薪炭筆墨紙等
郵便稅	郵便稅及郵便爲換料
電信料	電信料及ヒ電信持込ニ賃
運搬費	現金及物品公文遞送賃車馬船備料荷造用品代等
賄費	宿直並居殘賄料及臨時辨當料等

檢丁費	徵兵下検査所ノ諸費及ヒ檢丁旅費等	俸給	戸長役場
印刷費	活版料製本費界紙摺物代等	雑給	
雑費	地所家屋借上料及協議費	旅費	
		賞與	
		備給	
應費			

職務取扱諸費	常使及臨時備人夫賃需用費郵便稅等
運搬費	大藏省爲換方設置無之郡ヨリ有爲換方へ國稅運搬費

乙第百十二號

明治十六年六月十六日

郡區役所

地方稅經濟ニ屬スル出納閉鎖期限左之通相定候條明治十五年度ヨリ施行可致此旨相達候事

第一條 收入支出決算ハ十九ヶ月間ヲ以テ完結スルヲ程度トス故ニ會計課ニ於テハ會計年度經過ノ後四ヶ月則チ毎年十月ヲ限リ出納ヲ閉鎖スヘシ

第二條 諸收入金ハ渾テ閉鎖期限内ニ調理シテ本廳へ完納スヘシ

第三條 地方稅支辨ニ屬スル諸經費ヲ請求シ或ハ其殘餘ヲ還納スル等ハ總テ閉鎖期限内ニ於テ結了スヘキモノナレハ前以其順序ヲ爲スヘシ

第四條 出納閉鎖ノ期ニ際シ若收支ノ決算ニ至ラサルモノアルハ其事由ヲ詳悉シテ伺出ヘシ

第五條 出納閉鎖ノ後若シ會計課ニ於テ決算檢査上ヨリ差額ヲ生スルコトアルハ爾後三ヶ月以内即チ翌年一月右差額ニ限り出納スルコトヲ得ヘシ

○公債

田第九十一號

明治十六年十二月七日

諸公債證書所持人ニシテ左ノ項目ニ該ルモノハ其證書ノ種類記番號ヲ記載シ戸長ノ奥印ヲ得テ(後見人及ヒ財産保管人ノ届、親戚ノ連署ヲ要ス)可届出此旨布達候事但既ニ届出ノモノハ本文ニ及ハス

一 改姓名ノ者

一 管内移住ノ者

一 後見人及財産保管人撰任ノ者

甲第九十七号

明治十六年十二月十四日

諸公債証書賣買讓渡及ヒ遺留流質ニテ引受タルモノ又ハ管外轉籍寄留ニテ携帯スルモノ等届書式別紙之通相定候條此旨布達候事但當縣明治十三年肱甲第八拾六号達ハ廢止ス

(別紙)

(第壹號)

金祿公債ハ利子ヲ區
何分利 別スヘシ以下同之 公債証書讓渡届

金札引換公債ハ發行年度
何年發行 ノ區別スヘシ以下同之

何郡何町何番地(寄留)

一何公債証書何圓

族籍 何ノ誰

但何圓

何記号

何番

何枚

何圓

何記号

何番

何枚

右ハ拙者所持ノ處今般何々ニ付何府何郡何町何番地(寄留)族籍何ノ誰
賣渡候ニ付御規則ノ通記名調印該公債証書相添此段奉届候也

右

年号月日

何ノ誰印

縣令宛

戶長奥書 例文以下同之

後見人及ヒ財產保管人ハ親戚ノ連署ヲ要ス

(第貳号)

他管公債讓受届

何分利
何年發行

何郡何町何番地(寄留)

一何公債証書何圓

族籍 何ノ誰

但何圓

何記号

何番

何枚

何圓

何記号

何番

何枚

右ハ何府何郡何町何番地族籍何ノ誰所持ノ處今般何々ニ付讓受候ニ付該

公債証書相添此段奉屆候也

年号月日

縣令宛

戶長奧書

(第三號)

公賣公債買受届

右

何ノ誰印

何分利
何年發行

一何公債証書何圓

但何圓

何記号

何番

何圓

何記号

何番

何枚

何郡何村何番地(寄留)

族籍

何ノ誰

右ハ何區何村何番地族籍何ノ誰所持ノ處何裁判所ニ於テ公賣處分相成拙者買受候ニ付御規則ノ通名面書替該公債証書并何裁判所ノ通知書相添此段奉屆候也

右

何ノ誰印

年号月日

縣令宛

戶長奧書

(第四号)

遺留公債引受届

何分利
何年發行

一何公債証書何圓

何郡何村何番地(寄留)

族籍

何ノ誰

但何圖 何記号 何番 何枚
 何圖 何記号 何番 何枚
 右ハ先代何ノ誰所持ノ處何年何月何日死亡失跡離縁ニ付拙者跡目相續届濟
 今般遺留物トシテ引受候間御規則ノ通名面書替該公債証書相添此段
 奉届候也

年號月日

縣令宛

右
 何ノ誰印
 何郡何村何番地族籍
 親戚 何ノ誰印

戶長與書

(第五号)

流質公債引受届

何分利 何年行 何郡何村何番地(寄留) 族籍 何ノ誰
 一何公債証書何圖
 但何圖 何記號 何番 何枚
 何圖 何記號 何番 何枚
 右ハ何區何村何番地族籍何ノ誰所持ノ處何裁判所ノ言渡ニヨリ流質
 ト相成拙者引受候ニ付御規則ノ通名面書替該公債証書并何裁判所ノ
 通知書相添此段奉届候也

年号月日

縣令宛

戶長奧書

右

何ノ誰印

(第六號)

公債證書携帶届

何分利
何年發行

一何公債証書何圓

但何圓

何圓

何記号

何記号

何番

何番

何枚

何枚

何郡何村何番地(寄留)
族籍

何ノ誰

右ハ今般何縣何府何郡何區何町何番地(轉籍)付該公債證書携帶可致候間此段

奉届候也

右

何ノ誰印

年号月日

縣令宛

戶長奧書

(第七号)

他管公債携帶届

何分利
何年發行

一何公債証書何圓

但何圓

何圓

何記号

何記号

何番

何番

何枚

何枚

何郡何村何番地

族籍 何ノ誰

右、今般何府何郡何町何番地ヨリ當縣下へ轉付ニ付何府縣廳へ屆濟携帶致候間該公債證書相添此段奉屆候也

右

年號月日

何ノ誰印

縣令宛

戶長奧書

○備荒儲蓄金

甲第三十四號

明治十六年五月七日

明治十五年壯當縣甲第百八拾四號布達備荒儲蓄法施行規則中改正及十六年度收出豫算郡部會ノ議決ヲ經テ左之通相定候條此旨布達候事

郡部備荒儲蓄法施行規則

第四章 支給

第十七條 刪除

但第十八條ヲ第十七條トシ以下每條繰上ケ第三十三條ヲ第三十二條トス

明治十六年度備荒儲蓄金收入豫算

一金九萬貳千三百四拾三圓九拾一錢二厘

内

金三萬八千貳百九拾八圓八拾錢壹厘

配付金

金三萬八千五百六拾貳圓三拾壹錢一厘

公儲金

但本年地租豫算額百七拾五萬貳千八百三拾貳圓三拾三錢七厘則此課額地租金拾圓ニ付金貳拾貳錢

金壹萬五千四百八拾貳圓八拾錢 公債利子

明治十六年度備荒儲蓄金支出豫算

一金六千九百三拾九圓貳拾錢

內

金六千五拾六圓貳拾錢 罹災者救助

金八百六拾八圓 地租貸與補助

金拾五圓 現金運送費

甲第三十五號 明治十六年五月七日

明治十五年脞當縣甲第八十五號布達備荒儲蓄法施行規則中改正及十六年度收支豫算區部會ノ議決ヲ經テ左之通相定候條此旨布達候事

區部備荒儲蓄法施行規則

第四章 支給

第十六條 刪除

但第十七條ヲ第十六條トシ以下每條繰上ケ第三十二條ヲ第三十一條トス

明治十六年度備荒儲蓄金收入豫算

一金千三百九拾九圓拾四錢七厘

內

金五百八拾壹圓拾九錢九厘

配付金

金五百八拾五圓拾九錢八厘

公儲金

但本年地租豫算額貳萬六千五百九拾九圓八拾九錢一厘則此課額地租金拾圓三付金貳拾貳錢

金貳百三拾貳圓七拾五錢

公債利子

明治十六年度備荒儲蓄支山豫算

一金四拾三圓八拾五錢

內

金三拾圓六拾錢

罹災者救助

金拾三圓貳拾五錢

地租貸與補助

甲第五十一號

明治十六年七月五日

昨十五年

月十二

當縣申第百八十四號

郡同

百八十五號

區

布窪備荒儲蓄

法施行規則ノ上(十五年度)ト有之四字刪除候條此旨布達候事

○船船

甲第一号

明治十六年一月十三日

明治十四年本縣甲第百貳拾號布達小形旅客汽船取締規則別冊之更改正來ル十六年二月十六日ヨリ施行候條此旨布達候事

(別冊)

小形旅客汽船取締規則

第一條

小形旅客汽船ヲ以テ管内又ハ他ノ管轄地トノ間ニ航運營業ヲ爲スモ
ノハ總テ此規則ヲ遵守スヘシ

但公稱馬力五拾未満ハ勿論五拾以上ノモノト雖モ船體機關等ノ狀
況ニヨリ本則ヲ遵守セシムルコトアルヘシ

第二條

前書航運營業ヲ爲サント欲スル者ハ營業上ノ諸規則并左項ニ掲クル
明細書各貳通ヲ添ヘテ其旨ヲ出願シ船體機關等ノ檢査ヲ受クヘシ
但營業ヲ許シタル後船體機關ヲ變更シ又ハ修繕スルキモ本條ニ依
リ檢査ヲ請フヘシ尤モ修繕一小部分ニ係ルモノ及塗替等ハ此限ニ
アラス

一本船在籍府縣名

一製造ノ年月地名及ヒ製造人ノ姓名

一船名

一内車

一外車

一登簿噸數

一公稱馬力

一船路

一繫留ノ場所及ヒ發着ノ定日時限

一客室ノ坪數乗客ノ定員并乗客物貨運賃

一船主船長及ヒ機關手運轉手ヲ要スルモノハ族籍氏名

第三條

營業ヲ許可シタル者ハ検査證書ヲ與ヘ毎年一回ノ定期検査ヲ爲シ其證書ヲ交換ス尤翌年ノ定期検査迄航運ニ堪ヘサルモノハ堪ニヘキ期限ヲ記載シタル検査證書ヲ下付ス

但検査員ヲシテ臨時ニ乗船々體機關等ノ整備スルヤ否ヲ検査セシムルコアルヘシ此場合ニ於テハ縣令ノ命令狀ヲ示スモノトス

第四條

定時臨時ノ検査ヲ問ハス船體機關等ニ故障アリト認ムルカ或ハ検査證書ヲ所持セス又ハ船體機關ヲ變更修繕シテ検査ヲ受ケサルモノハ航運ヲ停止シ修繕若クハ改造ヲ命スルコアルヘシ

第五條

廢業人ハ賣却讓渡等ノ場合ニ於テハ其旨ヲ届出検査證書ヲ返納スヘシ

第六條

検査證書ハ期限内船内ノ見易キ場所ニ掲示シ乗客ノ定員及ヒ賃錢表ヲ每客室ニ貼付スヘシ

第七條

本船々體所屬品ハ必ス左項ニ掲クル如ク整備スヘシ

但川路航運スル分ニ限リ検査員ニ於テ危険ナシト認ムルモノハ完備セサルモ特ニ許スコアルヘシ

- 第一 船體ハ材質堅牢ニシテ諸部ノ構造適合整備ナルモノ
- 第二 船側并甲板面ハ填茄^{ホクナ}ヲ以充分ニ罅隙ヲ塞キ水ノ漏泄ヲ防キ尙ホ兩舷ニ水吐孔^{スカツハル}ヲ設ク
- 第三 甲板ニ設ケタル出入及荷積口ハ其縁材甲板面ヨリ高フシテ艙内ニ水ノ流入スルヲ防キ且之ヲ密閉スヘキ外套ヲ備フ
- 第四 甲板上船舷ナキモノハ其周圍ニ欄干ヲ設ケテ貳尺以上ニ至ラシムヘシ
- 第五 室内空氣流通ノ爲メ窓口ヲ設ケタルモノハ堅牢ナル戸扉ヲ備フ
- 第六 端舷ヲ釣リ得ヘキ船體ニ於テハ必ス之ヲ備ヘ其附屬品全備

シテ不時ノ用ニ適スルモノ

- 第七 舵ハ其取付堅牢ニシテ豫備ノ轉舵索ヲ船尾ニ備フ
- 第八 羅盤及救命浮子各壹個以上ヲ備ヘ其救命浮子ハ人體ヲシテ充分水上ニ浮ミ得セシムルモノ
- 第九 相當ノ消防器具及ヒ小桶三個以上ヲ備フ
- 第十 船ノ噸數ニ應シ其量目及ヒ大サノ適合セル錨并錨柁ヲ備フ
- 第十一 掲燈及ヒ信號器ハ總テ製造規則ニ適合ノモノニシテ其船燈ノ隔板ハ位置正シク裝置ス
- 第十二 汽笛及ヒ號鐘ハ其音響ノ障碍ナキ場所ニ裝置シ號鐘ハ音響高キモノニテ善ク其用ニ適スルモノ

第十三 甲板は何レノ場所ヲ間ハス漏水ヲ排出スヘキ汚水唧筒壹個以上ヲ備フ

第八條

本船ノ汽機及ヒ所屬品ハ必ス左項ニ掲クル如ク整備スヘシ

但川路航運スル分ニ限リ檢査員ニ於テ危險ナシト認ムルモノハ完備セサルモ特ニ許スコトアルヘシ

第一 機關ハ諸部適合ノモノニテ充分ニ整備セシモノ

第二 水線以下及ヒ其近傍ニ於テ裝置セシ船外ニ通スル管ハ必ス嘴子ノック或ハ瓣バルブヲ備フ

第三 鐘及ヒ機關ニ屬スル相當ノ豫備品并附屬品ヲ備フ

第四 冷氣器ヲ設クル機關ハ正當ナル驗氣器ヲ備フ

第五 汽鐘ハ豫テ水試験ヲ經タルモノニテ平常用フル汽力ニ對シ

新鐘ハ其二倍十斤ノ汽力ヲ用フ古鐘ハ其二分ノ一ヲ加ヘタル十斤ノ汽力ヲ用フルモノハ力ニ堪ユルモノ十五斤

第六 安全瓣ハ每鐘火床面積ノ一平方尺毎ニ必二分ノ一平方寸ノ

モノ二個ヲ備ヘ平常用ユル汽力ニ對スル重量ヲ定メ内壹個ハ外套ヲ備ヘ其外套ハ檢査員ノ立合ヲ得サレハ開閉シ能ハサル設ケ爲シタルモノ

第七 驗氣器驗鹽器驗温器ハ時々試験ヲ爲シ誤謬ナキモノ

第八 驗水器ハ每鐘硝子製ノモノト二個以上ノ試嘴ト兩様ヲ備ヘ

タルモノ

第九 汽鐘二個以上ニシテ塞氣瓣壹個ヲ備ヘタルモノハ其塞氣瓣
ヲシテ各鐘ノ汽路ヲ閉塞セシムルニ適スルモノ

第十 蒸氣ヲ噴出セシムル爲メ必ス排氣管ノ設ケアルモノ

第十一條

乘客ハ必ス既定ノ客室内ニ限ルヘシ而シテ其員數ハ壹坪六尺四方八人ヨ
リ超過ス可ラス

但十歳未満ノ者ハ二人ヲ壹人ノ割トス

第十條

每室乘客ノ員數運賃航路及ヒ發着ノ場所時限等ヲ變更スルキハ書面

ヲ出シ認可ヲ受ケ船長及運轉手機關手ニ更送アルキハ其族籍住所氏
名ヲ具ニ届出ヘシ

第十一條

管下小形旅客汽船ニ限リ十噸未満ト雖モ海員雇入又ハ雇止ヲ爲スト
キハ雇者被雇者之間ニ締約書又ハ解約書ヲ作り浦役場ノ公認ヲ受ク
ヘシ

第十二條

物貨ヲ積ムハ必ス艙内ニ限ルヘシ尤長大ニシテ艙内ニ積ム能ハサル
モノ及ヒ手荷物ハ此限ニアラス

但客室「雖モ乘客ノ員數制限ニ滿タサルキハ物貨ノ積入ヲ爲スモ

妨ケナシ

第十三條

火藥硝石硫黃石炭油其他危害ノ物品ヲ積載スルキハ明治六年第二百九拾二號公布ニ因リ取扱フヘシ

第十四條

船ノ脚入ハ喫水線ヨリ超過スヘカラス

第十五條

航行ノ途中他船ト競争シ或ハ劣カニ安全瓣ノ封緘ヲ開閉スル等ノ所爲ハ決シテアル可ラス

第十六條

橋下ニ航運スヘキモノハ儘レ煙突ヲ備ヘ又渡船場ヲ通航ノキハ速力ヲ緩ニシ長聲一發ノ汽笛ヲ報シ苟モ自他ヲ危害スルノ虞ナカラシムヘシ

第十七條

艙内ハ燈火ノ外一切火ヲ用フヘカラス又船表ニ定則タル燈火ヲ掲出スヘカラス

但燈器ハ堅固ニシテ安全ナルモノヲ用フヘシ

第十八條

燈火ハ石炭油其他揮發性ノ油ヲ用フヘカラス

第十九條

沿岸人家ノ近傍ニ於テ薪材ヲ焚用スヘカラス

第二十條

一旦拔錨ノ上ハ乗客乗後レ又ハ物貨積後レノ爲メ其運轉ヲ中止スヘカラス

第二十一條

汽船出入ノ際汽笛ハ三回マテニ限ルヘシ妄リニ發聲スルコトヲ許サス但非常風波ノ節ハ此限ニ非ス

第二十二條

川筋航運ノモノハ出水何尺増ヨリ航運ヲ留ルノ制限ヲ設ケ豫テ届出置クヘシ

但航路中淺瀬ノ爲人力ヲ要スルカ如キ場合ニ於テハ航運スヘカラス

第二十三條

三日以上休業スルモノ及ヒ航運中ノ遭難等ハ其事由ヲ具ニ届出ヘシ

第二十四條

營業ヲ許可セシ后ト雖モ航路ニ妨碍アリト認ムルハ臨時處分ヲナスコトアルヘシ

第二十五條

此規則ニ違背スルモノハ出港ヲ停留其情狀ヲ取調違管罪ヲ以テ相當處罰セラルヘシ

割印

第何号

検査之證

年	製	持	公	登	船
月	造	主	稱	簿	
機	船	姓	馬	噸	名
關	體	名	力	數	

修 繕 度 後	年
	月
船	機
體	關

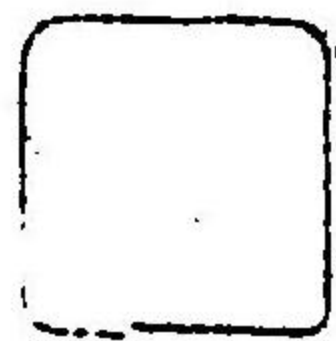
航	路
事	故

檢	查
セ	シ
年	月

検査之上授與之

年月日

愛知縣



検査員 何某 [印]

甲第六十號

明治十六年八月十五日

百六十五

本年即第拾三號ヲ以テ船稅規則制定布告相成候ニ付テハ船鑑札願屆書式別紙ノ通相定候條此旨布達候事

但當縣明治七年卅第九拾六號同八年一月第三號達ハ廢止ス

(別紙)

第一號

新規造船御検査願

定繫場何國何郡何村何番地

一西洋形燕藻風帆何丸日本形何丸 幾艘 何ノ誰

遊船小廻船解漁船 但(何噸積)(何石積)(何間)(附屬何船幾艘)

右者今般何國何郡何村(何港何造船場)ニ於テ新規造船仕候間(定繫場工回漕

附屬船客印ハ郡區役所(願山)

仕度)御検査ノ上(仮)鑑札御下渡被下度此段奉願候也

右

明治何年何月何日

何ノ誰印

縣令宛

與書例文

第貳號

新規造船鑑札御下渡願

定繫場何國何郡何村何番地

一何丸又ハ何々船 幾艘 何ノ誰

但(何噸積)(何石積)(何間)(附屬何船幾艘)

右者今般何府縣何國何郡何村何港造船所ニ於テ新規造船仕假鑑札相

受歸帆候間更ニ本鑑札御下渡被下度依テ假鑑札相添此段奉願候也

明治何年何月何日

縣令宛

奧書例文

第三號

鑑札番号記スヘシ以下準之

第何號 船體變更ニ付御検査願

定繫場何國何郡何海岸河(湖)岸

一(何丸)何々船

何噸積
但何石積
何問

何噸積
改何石積
何問

何國何郡何町何番地

幾艘 何、誰

右

何、誰印

右者今般船躰變更仕候ニ付御検査ノ上ニ鑑札御書換被下度依之鑑札相添此段奉願候也

明治何年何月何日

縣令宛

奧書例文

第四號

居代管或ハ管内也

第何號 船賣買鑑札御書換願

定繫場何國何郡何海岸河(湖)岸

一何丸又ハ何船

何國何郡何町何番地

幾艘 賣主 何、誰

右

何、誰印

但(何噸積)(何石積)(何間)(附屬何船幾艘

改定繫場何國何郡何港河(湖)岸

何國何郡何町何番地

改何九

幾艘 買主 何ノ誰

右者今般賣買候ニ付鑑札御書換被下度依之鑑札相添此段連署ヲ以奉願候也

明治何年何月何日

右 何ノ誰印 何ノ誰印

縣令宛

奧書例文

買主所在ノ郡國長戸長與同スヘシ

第五號

有船變更願申渡之

免稅船變更御檢査願

定繫場何國何郡何港河(湖)岸

何國何郡何町何番地

一何々船

幾艘 何ノ誰

但(何間)

右ハ元何々免稅船ニ有之候處今般何々ニ相用候間御檢査ノ上御鑑札御渡被下度此段奉願候也

明治何年何月何日

右 何ノ誰印

縣令宛

奧書例文

第六號

他府縣一定繫場替等字之

第何號 船賣却ニ付御届

元定繫場何國何郡何海港河岸

一何丸又ハ何船

何國何郡何町何番地

幾艘

何ノ誰

但(何噸積)(何石積)(何間)(附屬何船幾艘)

右ハ今般何府縣何國何郡何町何村何某ハ賣却(何川港海工定繫場替)仕候間

此段奉届候也

右

何ノ誰印

明治何年何月何日

縣令宛

奥書例文

第七號

難破船等届書ハ准之

第何號 解船ニ付鑑札返上届

定繫場何國何郡何海港河岸

一何丸又ハ何船

何國何郡何町何番地

幾艘

何ノ誰

但(何噸積)(何石積)(何間)

右ハ今般何所ニ於テ解船仕候御鑑札相添此段奉届候也

右

何ノ誰印

明治何年何月何日

縣令宛

奧書例文

第八號

第何號 定繫場代人届

定繫場何國何郡何^港何^湖岸

一何九又ハ何船

何國何郡何町何番地

幾艘

何ノ誰

但(何噸積)(何石積)(何間)(附屬何船幾艘)

右ハ今般所有船御管下ニ定繫場相定候ニ付テハ御規則之通代人相立税金上納方等同人ニ爲取扱候間此段連署ヲ以奉届候也

右

明治何年何月何日

船主

何ノ誰印

縣令宛

何國何郡何町何番地
代人 何ノ誰印

奧書例文

甲第六十七號

明治十六年九月四日

本年一月一本縣甲第一號布達小形旅客汽船取締規則中左之通道加更正候條此旨布達候事

小形旅客汽船取締規則追加更正

第二條 但書ニ左ノ貳拾七字ヲ追加ス

但(航路ノ三重縣ト交渉スルモノハ兩縣検査員立會検査スヘシ

持主	定 際 港	製 造			年 月	最 後 大 修 繕			登 簿 噸 數	公 稱 馬 力	推 進 器
		船 體	汽 機	汽 罐		船 體	汽 機	汽 罐			

船 名

印 判

第何号
檢 查 之 證

(別紙)

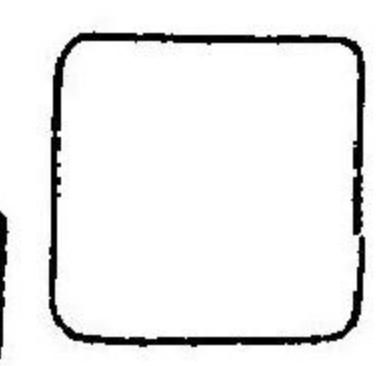
且) 營業ヲ許シ云々
 第三條 但書ニ左ノ貳拾七字ヲ追加ス
 但(航路ノ川重縣ト交渉スルモノハ其ノ管ノ孰レニアルヲ問ハ
 ス) 検査員ヲシテ云々
 検査證書式別紙ノ如ク更正ス

最大深壓	
航路	
事故	

檢査之上授與之

年月日

愛知縣



檢査員 何 某印

甲第六十九號

明治十六年九月十一日

船稅規則第七條ノ日本形積石五十石未滿ノ船并ニ解漁船小廻船ノ本鑑札釘付ノ箇所ハ該船舶舳ノ外部側面ニ之レヲ爲スヘシ此旨布達候

事

乙第百六十八号

明治十六年九月十三日

郡區役所

官用ノ船舶ヲ製造又ハ變更(漁船ヲ帆船ニ變へ又ハ橋敷ヲ増減スル類)若クハ購求シタルトキハ別紙第壹号及第貳号表ニ照シ毎年一月一日調ヲ以其年二月中可差出此旨相達候事

(別紙)

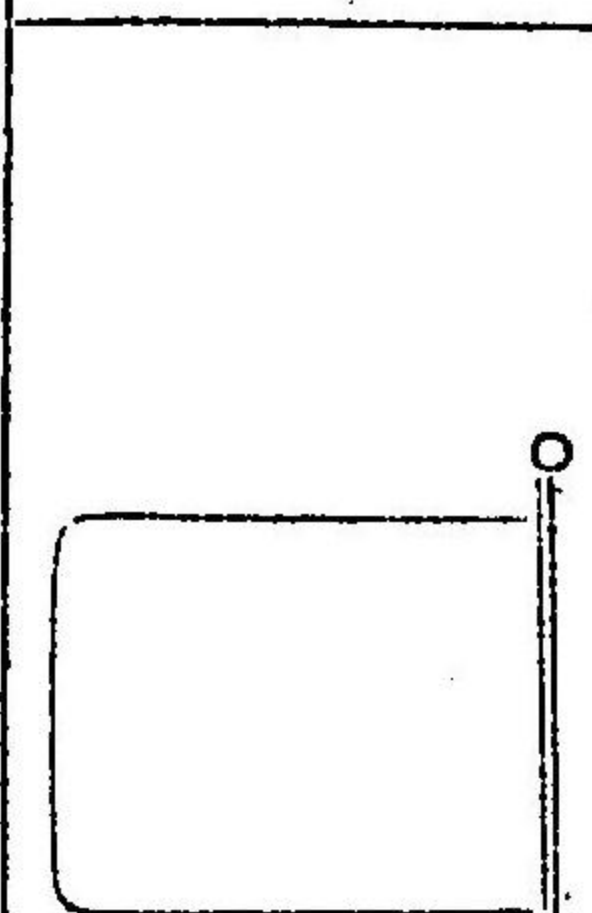
第壹號

西洋形船舶表

官省院廳府縣

船名何 九 推進機 螺旋カ兩輪カ風帆カ

船長	何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番地 何所(縣)華(士)族(平民) 何
製造ノ年 及地名	何年何月何所ニ於テ製造
船質	木製カ鐵製カ
長	量噸甲板上最大ノ長サ 何丈何尺何寸
幅	内法リ最大ノ幅 同
深	艙室ニ於テ量噸甲板ヨリ船底中央ノ内板ニ至 深サ 同
載貨喫水	船首 何尺何寸 船尾 何尺何寸
登簿噸數	何千何百何拾何噸
甲板數	河唇
櫓數	何本 裝帆「バーク」カ「ブリク」カ「スクーテル」カ

機關種類	横置カ 縦置カ 斜置カ 單機關カ 複機關カ 高壓カ 低壓カ
及ニ員數	角カ 圓カ 何個カ
馬力	名何千何百何拾何馬力 實何千何百何拾何馬力
炭所容積	尋常速力 何晝夜分
炭料費	尋常速力 一晝夜何百何拾何斤
走力	尋常速力 一時間拾何里 全速力拾何里
定繫場	何所
旗章	
第貳號	

千九百石以上			
貳千石未滿			
貳千石以上			

乙第二百十五號

明治十六年十一月五日

郡區役所

西洋形船蒸氣ハ拾噸風帆ハ貳拾噸以下及湖川港灣ヲ限リ運行スル船
 船取調ノ義今般農商務省ヨリ達ノ次第モ有之候付別紙雛形ニ準シ取
 調毎年六月三十日現在數七月二十日十二月三十一日現在數翌年一月
 二十日限可届出此旨相達候事

但明治十四年本縣乙第五十五號達廢止ス

(別紙)

雛形

西洋形船舶(何月何日)現在員數調

貫籍宿所

船主 氏名

船名	定繫場	船ノ種類	綱具ノ裝置	船体ノ材料	製造年月	製造地名	檣ノ數	幅	深	總噸數	登簿噸數	馬力

百七十五

告第八号

明治十六年二月十五日

兵庫縣下攝津國川邊郡尼崎港ニ協議費ヲ以テ燈臺ヲ建築シ該港エ出入スル船舶エ費用消却ノ爲本年一月ヨリ明治廿二年迄別紙ノ通帆別錢取立ノ儀許可候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

(別紙)

帆別錢取立方法

- 一金壹錢 十反帆未滿壹反ニ付
- 一金壹錢貳厘 十反帆以上十五反帆未滿全上
- 一金壹錢四厘 十五反帆以上廿反帆未滿全上
- 一金貳錢 廿反帆以上全上

一金三錢

西洋形一噸ニ付

告第十号

明治十六年二月廿二日

山形縣下羽後國飽海郡勝浦村人民自費ヲ以テ同地飛鳥灣ニ船舶網掛杭修繕及新設候ニ付該費消却之爲本年三月一日ヨリ向十五年間入港ノ船舶ヨリ左記ノ通港費取立ノ儀許可候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

記

- 一日本形積石貳拾石以下壹艘ニ付 金貳錢
- 一同貳拾石以上五拾石迄壹艘ニ付 金三錢
- 一同五拾石以上千石迄帆壹反ニ付 金壹錢

- 一 西洋形船八噸以上三拾噸迄壹噸ニ付 金五厘
- 一 同三拾噸以上七拾噸マテ壹噸ニ付 金四厘
- 一 同八拾噸以上百噸ニ至ル壹噸ニ付 金三厘

告第十七号

明治十六年三月十日

兵庫縣下攝津國兔原郡葺合村舊稱脇濱村地先へ人民私費ヲ以テ船入場築設ニ係ル工費消却ノ爲去ル明治九年以後二十ヶ年間出入諸船ヨリ港鏡取立來候處今般右徴錢額左記之通更定ノ儀同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

(別紙)

記

- 一 積石十石以上 拾石毎ニ金壹錢
- 一 全二百石未滿 拾石毎ニ金七厘五毛
- 一 全二百石以上 拾石毎ニ金五厘
- 一 全五百石未滿 拾石毎ニ金五厘
- 一 全五百石以上 但入港ノ都度本書金額ヲ徴收シ滯泊ノモノハ五日毎ニ全樣徴收スルモノトス

告第三十六号

明治十六年五月一日

秋田縣羽後國南秋田郡舟川港灣字泉臺ニ人民自費ヲ以テ竿燈建設シ右費用償却之爲來五月一日爾後入港之船舶ヨリ左記之通リ燈費取立ノ儀許可候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

記

- 一積石千石以上 壹艘ニ付金貳拾五錢
 - 一同五百石以上千石迄 同金貳拾錢
 - 一同百石以上五百石迄 同金拾五錢
 - 一同百石以下 同金拾錢
- 但漁船ハ此例ニアラス

告第四十三號

明治十六年五月十四日

長崎縣肥前國呼子港鷹島エ私費ヲ以燈臺建設費用償却ノ爲帆別錢取立ノ儀十四年本縣甲第二百三十號ヲ以及布達置候處同所加部島字赤知并波戸利字白崎エ船繋之船舶モ前同様帆別錢取立ノ儀許可候趣兵庫縣下攝津國兎原郡葺合村地先エ人民私費ヲ以船入場築設ニ付明

治九年ヨリ港錢取立來候處今般波止増築ニ付右費用償却ノ爲本年ヨリ向三十ヶ年間延期ノ儀許可候趣右兩縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

告第四十七號

明治十六年五月廿九日

本年仁當縣告第十號告示山形縣羽後國飽海郡飛島灣へ入港ノ船舶ヨリ港錢取立今般左ノ通改正ノ儀同縣ヨリ照會有之候條此旨更ニ告示候事

- 一日本形積石二拾石以下壹艘ニ付 金貳錢
- 一同貳拾石以上五拾石迄壹艘ニ付 金三錢
- 一同五拾石以上帆壹反ニ付 金壹錢

一西洋形三拾噸以上八拾噸迄壹噸ニ付 金四厘
一同八拾噸以上壹噸ニ付 金三厘

告第五十四號

明治十六年六月十四日

高知縣土佐國吾川郡浦戶港へ人民自費ヲ以燈臺建築シ右費用償却ノ爲本年六月三日ヨリ明治廿四年五月マデ入港ノ船舶ヨリ左記ノ通り帆別錢取立之義許可候旨全縣ヨリ照會有之條條此旨告示候事

別記

取立方法

一日本形船四反帆 壹艘 金五錢
一同五反ヨリ拾一反迄 每一反ニ 同貳錢増
一同拾壹反 壹艘 同拾九錢

一同拾二反ヨリ同拾八反迄 每一反ニ 同三錢増

一同拾九反帆以上 右同 同四錢増

一西洋形船舶 壹噸ニ付 同貳錢五厘宛

但浦戶港内定繫ノ漁船ハ此ノ限ニアラス

告第五十五號

明治十六年六月十四日

秋田縣羽後國南秋田郡舟川港灣へ竿燈建設ニ付燈費錢取立方本年告第三十六號ヲ以告示候處今般二項三項四項左ノ通改正候趣同縣ヨリ照會有之條條此旨更ニ告示候事

記

一二項積石千石未滿五百石マテ

- 一 三項積石五百石未滿百石マテ
- 一 四項積石百石未滿

告第六十五號

明治十六年七月廿八日

岡山縣備中國淺口郡玉島港へ人民自費ヲ以テ燈臺建築該費消却之爲入港ノ船舶ヨリ向九ヶ年間左記之通燈費取立之儀許可候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

- 一 積石五拾石以內 帆壹反ニ付 金五厘
- 一 全五拾石以上百石未滿 全 金壹錢
- 一 全百石以上三百石未滿 全 金貳錢
- 一 全三百石以上五百石未滿 全 金三錢

一 全五百石以上

全

金五錢

一 西洋形日本船

壹噸ニ付

金貳錢五厘

告第百拾號

明治十六年十二月二十四日

福岡縣筑前國博多港へ人民自費ヲ以テ燈臺建築シ該費消却ノ爲本月一日ヨリ福岡博多兩所へ入港ノ船舶ヨリ左記ノ通消却金取立ノ儀許可候旨該縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

- 一 西洋形蒸氣船及帆走船 一噸 金三錢
 - 一 日本形船五十石以上 一石 金五厘
 - 一 同五十石未滿 一艘 金五錢
- 但六十ヶ年后ハ左之通改正ス

- 一 西洋形蒸氣船及帆走船 一噸 金壹錢八厘
- 一 日本形船五十石以上 一石 金三厘
- 一 同五十石未満 一艘 金壹錢

○ 諭 達

明治十六年五月三日

近來陸軍教導團生徒召募ノ際之ニ應スルモノ多カラサルハ畢竟該團ノ成則ヲ熟知セサルヨリ陸軍從事ノ素志アルモ尙前途ヲ顧慮シテ其望ヲ空フスル等ノ事情間々有之哉ニ相聞候抑モ教導團ノ設ケアルヤ軍隊ノ積幹臣稱スヘキ下士ニ必用ノ學術ヲ授ケ之ヲ養成スルノ御趣意ニシテ卒業ノ後ハ各軍隊ニ分屬シ其職ヲ奉セシムルモノニ有之而シテ昇等進級ノ如キハ伍長ヨリ軍曹ニ軍曹ヨリ曹長ニ曹長ヨリ士官

ニ榮進ノ道アリ其下士ニノ服役十五年ニ滿ツレハ終身恩給ヲ賜リ又十年以上服役シ勤勞アレハ勳位ニ叙セラル、等ノ特典モ有之今ヤ聖上銳意兵備ヲ皇張セサセ給フ今日ニ方リ苟モ陸軍出身ニ志アルモノハ奮テ志願致スヘキ筈ノ所前顯ノ如ク其成則ヲ熟知セサルヨリレテ其志願ヲ空フスルカ如キハ尤遺憾トスル所ニ有之依テ別紙ニ下士恩典條項ヲ摘載相示候條志願ノ者ハ能ク之ヲ熟閱シ召募ノ際必ス出願ノ期ヲ誤ラサル様厚ク心懸クヘシ此旨諭達候事

別冊

下士ハ軍隊ノ積幹ニシテ兵卒ノ慈母ナリ其任實ニ輕カラス是ヲ以テ左ニ記載スル恩典ノ定則アリ此他戰時若クハ平時ト雖モ特殊ノ

功勞アレハ其賞典ヲ受クルコトハ復タ云テ俟タサルナリ

一 下士トハ曹長^{十一等} 軍曹^{十二等} 伍長^{十三等} ナ總稱スルモノナリ

一 伍長ニ任スルニハ上等卒^{上等卒アラサル} 兵種^{兵種ハ一等卒} 服役半年以上ニシテ拔擢セ
レタル者及ヒ教導團生徒卒業ノ者

但教導團生徒ノ卒業ハ步騎兵科ハ十二ヶ月砲工兵科ハ十八ヶ月
ヲ以テ期トス而シテ生徒中ハ被服食料及ヒ學費等一切官ヨリ之
ヲ給ス

一 伍長ニ任スレハ一分隊ノ長ト爲リ伍長半年ヲ經レハ軍曹ニ拔擢セ
ラル、コトヲ得

一 軍曹ハ半小隊ノ長ト爲リ軍曹一年ヲ經レハ曹長ニ拔擢セラル、コト
ヲ得

得

一 曹長ハ小隊副長ト爲リ又下副官ニ命セラル下副官勤仕中ハ准士官
ニシテ總テ士官ノ取扱ニ准ス曹長二年以上ヲ經レハ少尉ニ拔擢セ
ラル、コトヲ得

明治十年ヨリ十五年迄六ヶ年間ニ於テ步騎砲工輜重兵下士ヨリ
士官ニ昇級セシ者四百六拾六名アリ

一 下士奉職中ハ俸給ノ外被服食料等總テ官給ニシテ隊付ハ營内ニ居
住シ週番勤務ノ者ヲ除クノ外勤務及ヒ演習等公事ニ支障ナケレハ
日々夕食時限迄ハ外出スルコトヲ許シ又諸技藝ニ熟達シ且行狀方正
勤務ニ勉勵シ二百五十日皆勤セシ者ニハ四週日以内ノ休業ヲ與フ

之ヲ名ツケテ褒賞休業 此休業ヲ得シ者ハ唯休業スルコトヲ得ルノミニ止ト云ラス終始履歴書ニ存シ大ニ其名譽トスル者トス
フ此休業ヲ與ヘシ者ニハ褒賞休業ノ證ヲ下付ス然ル時ハ休業中ハ
朝食後ヨリ夕ノ點呼 時候ニヨリ異ナリト雖モ概テ午後八時前後 前迄外出スルコトヲ得又本
人ノ願ニ依リ此日限中ニ於テ歸省或ハ他行等ヲ許ス然ル時ハ旅費
ハ給セスト雖モ日給及ヒ食料等ヲ與フ隊外職務ヲ奉スル下士ハ隊
附ノ如キ褒賞休業等ノ榮典ナ_レト雖モ家居シテ日々出務セシメ被
服食料宅料等ヲ給ス

一 下士七ケ年ヲ經レハ常備役滿期トナリ後備軍ニ偏入シ尙ホ三ケ年
服役セシム 此三ケ年ハ後備軍召集ノ日ヲ除クノ外家居シテ家業ヲ營ムヲ得 然レモ常備再役ヲ乞フ者ハ
之ヲ許シ一期ヲ三年トシテ年齡滿限 歩騎砲工輜重兵科ハ三十五年其他ハ四十五年 迄服役スル

コトヲ得再役ノ下士ニハ凡テ年功加俸ヲ與フ

但下士滿期ノ時其行狀方正ニシテ技藝ニ熟達シ殊ニ勤務ニ勉勵
セシ者ニハ其名譽ヲ表スル爲メ精勤證書ト名ツクル所ノ貴重ナ
ル證書ヲ與フ

明治十年ヨリ十五年迄六ケ年間歩騎砲工輜重兵科ノ再役者九百
十三名ナリ

一再役以上ノ下士ハ隊外ノ書記ニ轉シ又會計書記ニ轉科スルヲ得
一 教導團生徒エ入團ノ日ヨリ下士奉職中ハ勿論何時ニテモ檢査合格
ノ者ハ士官學校生徒ニ轉スルコトヲ得

明治十年ヨリ十五年迄六ケ年間教導團生徒ヨリ轉セシ者廿七名

下士ヨリ轉セシ者八拾四名ナリ

一曹長軍曹ニ任セラレタル者ハ常備滿期ノ時後備軍士官適任證書ヲ受クルヲ得此證書ヲ所持スル者ハ他日士官ニ任セラル、ヲ得但此士官ニ任スル者ハ武裝料ヲ給シ後備軍召集ノ日ヲ除クノ外家居シテ家業ヲ營ムヲ得少尉以上ハ奏任官ナレハ最モ榮譽アルモノナリ

今現ニ少尉試補ニ任セラレタルモノ明治十五年ニ於テ四拾一名アリ

一下士服役十五年ニ滿ツレハ退職恩給ヲ賜フ此給恩ハ特リ終身ノミナラス其身早ク死スレハ其寡婦或ハ孤兒ニマテ賜ハルモノナリ

但此服役ノ十五年ハ兵卒ヨリ下士ニ任スル者ハ入營ノ日ヨリ起算シ生徒ヨリスルモノハ任官前一ケ年ヲ通算スルヲ得且ツ此恩典ヲ受クル者ニ限り印紙類ノ賣捌ヲ許可セラル、ノ特典アリ一服役九年以上ノ下士ニシテ一等休暇ヲ得テ罷役ニ入ル者ハ罷役恤金トシテ一ケ年曹長ハ四拾貳圓軍曹ハ四拾圓伍長ハ三拾三圓ヲ賜ハルヘシ

一下士服役滿期ノ後鐵道燈臺ノ吏員ニ出身スルヲ志願スルヲ得一再服役服役十ケ年以上トナル以上滿期ノ下士及ヒ兵卒ヨリ下士トナリ陸軍服役實期十ケ年以上ニシテ七ケ年以上下士ノ職ヲ奉セシ者及ヒ戰役若シクハ公務上ノ傷痕疾病ニ因リ免官シ尙文官ノ勤務ニ堪ユル者ハ